

第九十回帝國議會 議院 罹災都市借地借家臨時處理法案(政府提出、貴族院送付)

(一一七)

付託議案

罹災都市借地借家臨時處理法案(政府提出、貴族院送付)

訴訟費用等臨時措置法の一部を改正する法律案(政府提出、貴族院送付)

辯護士及び辯護士候補の資格の特例に關する法律案(政府提出、貴族院送付)

昭和二十一年八月五日(月曜日)午前十一時二十六分開議

出席委員

委員長 本田 英作君

理事石原 圓吉君 理事鈴木 仙八君

理事林 連君 理事武藤運十郎君

九鬼紋十郎君 細川八十八君

金井 芳次君 大矢 省三君

鹿島 透君 酒井 俊雄君

中田榮太郎君

同月三日訴訟費用等臨時措置法の一部を改正する法律案(政府提出、貴族院送付)及び辯護士及び辯護士候補の資格の特例に關する法律案(政府提出、貴族院送付)ノ審査ヲ本委員ニ付託セラレタ

出席國務大臣

內務大臣 大村 清一君

出席政府委員

內閣事務官 財津 吉文君

內務事務官 岩澤 忠恭君

大藏事務次官 上塚 司君

司法事務次官 古島 義英君

司法事務官 奥野 健一君

文部事務次官 長野 長廣君

本日ノ會議ニ付シタ議案

罹災都市借地借家臨時處理法案(政府提出、貴族院送付)

○本田委員長 開會致シマス、此ノ際御報告致シテ置キマス、去ル三日ノ本會議ニ於テ、本委員會ニ訴訟費用等臨時措置法の一部を改正する法律案及び辯護士及び辯護士候補の資格の特例に關する法律案ガ併致サレマシタカラ、此ノ際御報告致シテ置キマス、一昨日ニ引續キ質問ヲ續行致シマス——

○酒井委員 次ハ鑑定委員會ノ組織權附ニ付キマシテ、少シク御伺ヒマシタ

イト思ヒマス、尤モ是等ノコトニ付キマシテハ、先般既ニ他カラ質問ガアツタヤウデアリマスルガ、重要ナコトデアリマスルノデ、重テ御伺ヒマシテ致シ

タイト思ヒマス、茲ニ鑑定委員會ナルモノガ構成サレマシテ、相當ノ權限ヲ持ツ譯デアリマスルガ、其ノ委員會ハ、地方裁判所ノ所長ガ委員ヲ任命スル

云フ建前ニナツテ居リマス、併シ過去ノ斯ウシタ委員會ナリ、各種ノモノニ付テ見マスルノニ、至ツテドウモ其ノ

當ヲ得ナカッタヤウナ結果ニナツテ居ルノデアリマス、ソレハ結局裁判所ノ一長テアル所ノ裁判所長アタリガ任命

ヲ致シマスノデ、非常ニ見解ガ狭イ、是ハ何モ其ノ裁判所ノ長ガ、知識、識

見ガ足ラナクテ見解ガ狭イト云フコトデナシニ、時々轉任ト云フヤウナコト

ガゴザイマス、長ク其ノ土地ニ馴染ムト云フコトガ割合少イノデ、サウ云フ

人ノ個人ノ見立ニ依リマシタ委員ヲ選

ブト云フコトハ、ドウモ結果カラ見マシテ面白クナイ、他ニ相當適任ノ人ガアルノニト考ヘラレルヤウナコトガ、寧ロ多イデアリマス、サウ云フ意味

カラ致シマシテ、其ノ土地ニ永續ランテ居リマスル所、相當ノ權威者ト云

フヤウナ者モ、此ノ委員ノ選定ニ當ラセル、何等カ茲ニ合議デモ——大勢ノ

人ノ力ヲ集メテ委員ノ選定ニ當ラセル必要ガアルノデヤナイカト思ヒマス、

調停委員ナドニ付キマシテモ、他ハ知リマセヌケレドモ、私共始終地元區ニ

アリマシテ見聞キシテ居リマスルモノニ、至ツテドウモ情實關係ガ多イノデアリマス、殊ニ裁判所ガ選任ヲ致シマ

スルノデ、又調停ニナツテ事件ノ相當ヲ致シマスノモ、裁判所ノ書記アタリ

ガ致シマスルガ、隨テ費用積ギニ出テ來ル、全ク事件其ノモノハ裁判所ノ判事

ノ最後ノ意見ニ任セテシマツテ、一向ドウモ無責任ナ、場當リナ調停ヲ致シ

マシテ、費用積ギヲ致シマス、サウシテ本當ニ職業的ニ、同時ニ三ツモ四ツ

モ事件ヲ持チマシテ、毎日々々出テ來ル、全ク是等ノ者ハ職業デアリマス、

サウ云フ傾向ガ随分多クツタノデアリマス、斯ウ云フ日常積ギニ來ルト云フ

ヤウナ者ハ、斯ウ云フ時代ニナリマシテ、アノ日當ト云フモノガ割合ハナクナレバ、今後ハ割當テラレテモ出ナイト云フヤウナコトニナツテシマフ、サウ云フヤウナ點ヲ見マシテモ、洵ニ組織トシテハ結構デアリマスルガ、鑑定

委員ヲ選ブト云フコトハ、其ノ選バ

レタ人ノ如何ニ依リマシテ、此ノ選

巧ク行クカ行カナイカト云フコトニナツテハ、今マデノ色々ナ委員ナル

モノシマ、大體ニ於テ形式上ハ立派ニ考ヘラレ、立派ニ整ツテ組織立テラレ

ノデアリマスルガ、實質上ハサウ云フ委員ノ選任ガ惡カッタ、委員ニナツ

タ人ガ惡カッタ爲ニ、甚ダドウモ失敗ノ形デアルト云フヤウナコトニナツテ居

ルト、私共ハ思ツテ居ル、サウ云フ意味カラ致シマシテ、何トカ此ノ委員選

定ノ方法ハ、客觀的ニ見マシテ妥當ナル人ガ選任サレルト云フヤウナ、特別

ノ方法ヲ考ヘテ貰ヒタイト思フノデアリマスルガ、此ノ點ニ付テ、政府當局

ニ於カレマシテハ何トカ一考ヲサレル御用意ハナイカト云フコトヲ承リマス

○古島政府委員 鑑定委員會ノ組織ニ付キマシテハ、全ク重大ナコトデアリ

シテ、今マデノ人事調停、其ノ他ノ借地借家調停ノ委員トハ違ヒマシテ、斯

ウ云フ時代ニ於ケル鑑定委員デアリマスカラ、餘程注意セネバナラヌノデアリマス、勿論此ノ鑑定委員ハ、私ガ申

上ゲルマデモナク裁判所ノ一機關デア

リマス、諮問機關ニナツテ居リマスカ

ラ、此ノ點ニ付テハ、裁判所長ト云フモノハ餘程慎重ナ態度ヲ以テ選任セネ

バナラヌト思フノデアリマス、幸ヒニ今回此ノ法案ガ通過致シマシテ、此ノ

鑑定委員ヲ地方裁判所ノ所長ガ選任致シマス時ニハ、先般モ林君ニ申上ゲテ

置イタノデアリマスガ、勿論辯護士會ト云フヤウナモノノ意見モ聽カネバナ

ラスト思フノデアリマス、其ノ他法曹

關係ノ意見等ハ十分斟酌ヲ致シマシ

テ、萬遺漏ノナイヤウナ委員ヲ選任致

シタイト存ジテ居リマス、殊ニ只今酒

井サント御話ノヤウニ、日常稼ギラス

ルトカ、或ハ自分デ強ヒテ何カノ運動

ヲシタ件數ヲ殖ヤストカ、毎日出ルヤウナコトニスルトカ云フヤウナコト

ハ、洵ニ忌ムベキコトデアリマシテ、

殊ニ此ノ間ニ情實ガ挾マルト云フヤウ

ナコトニナツテ參リマスレバ、鑑定委

員會ノ威信ニモ關スルコトデアリマス

カラ、其ノ點ハ十分注意致シマシテ、

選算ナキヤウニヤル積リデアリマス、

左様御承知ヲ願ヒマス

○酒井委員 前々色々借地借家ニ付キ

マシテモ、其ノ他人事ニ付キマシテモ、

調停委員ナルモノガ出來テ居リマス

ガ、是等ノ弊害ノ部面ト云フモノニ付

テハ、當局モ十分御承知ノコトト思ヒ

マス、中ニハ調停ヲヤツテ居ル其ノ間、

フノデアリマス

次ニ鑑定委員會ノ權限ニ付キマシテ……

○本田委員長 一寸酒井君、發言中デスガ、大藏政務次官ガ増税ノ方ニ行カナクテハナラヌ關係ガアツテ、大藏省關係ハ……

○酒井委員 簡單デスカラ、此ノ權限ダケ御聽キシマス、鑑定委員會ノ意見ハ、結局ドウ云フ風ニ採用サレ、或ハ不採用サレモ、カ、詰リ鑑定委員會ノ意見ガ、裁判所ノナシマス裁判ニドノ程度ノ實質的ナ力ヲ持ツモノカト云フ、其ノ權限ヲ一ツ承リタイト思ヒマス

○古島政府委員 鑑定委員會ハ先程モ申シタヤウニ、裁判所ノ一諮問機關デアリマスルカラ、ドウシテモ鑑定委員會ノ意見ヲ聽カネバナラヌト云フ條項モアリマス、又場合ニ依レバ、鑑定委員會ノ意見ヲ必ズシモ聽カヌデモ判斷ノ出來ル部分モアルノデアリマス、主トシテ法律關係等ニ付キマシテノ判斷ハ、鑑定委員會ノ鑑定ヲ聽キマセヌデモ、出來ル部分ガ多分ニアルト存ジマス、若シハ適當ナ處分ヲスルト云フヤウナ意味合ニ於ケル處分行為ノ如キハ、是ハ鑑定委員會ノ意見ヲ聽カヌデモ、十分裁判所ダケ出來ルコトト思フノデアリマス、ソコデドウシテモ鑑定委員會ノ意見ヲ聽カネバナラヌト云フ部分ハ、條件ニ付テ、所謂契約ノ内容條件ニ付テノ協議ガ調ハナイト云フヤウナ場合ニハ、是ハ聽カネバナラヌコトデアル、所ガ其ノ鑑定委員會ノ決議ニ、裁判所ガ必ズ拘束サレルカト云フト、必ズシモ是ハ強制的ニ拘束サレルモノデハナイト思フノデアリマス、詰リ言ヘバ、判斷機關デナクテ諮問機關ナルガ故ニ、其ノ決議ヲ材料ト致シテ、裁判所ガソレヲ採リ入レテ、最後ノ判定ヲスレバ宜イノデアリマスカラ、權限ト申シマシテモ、其ノ契約ノ内容、條件等ガ果シテ適當デアルカ、妥當デナイカト云フコトノ判定ヲ與ヘルダケノ程度ニナリマシテ、ソレヲ採用スルカ採用シナリカト云フコトハ、法ノ精神上明カダト思フノデアリマス、從ツテ鑑定委員會ノ權限ニ於キマシテモ、諮問サレタ事項ニ向ツテノ決定ヲ與ヘル決議ヲスルト云フ程度ニナリマシテ、此ノ法ノ十九條ノ書き方、或ハ二十一條ノ、秘密ニヤツテ意見ダケ述ベルト云フ意味合カラ見ルト云フト、サウ云フ風ニ斷定ガ出來ルト信ズルノデアリマス

○酒井委員 十五條、十七條ニハ鑑定委員會ノ意見ヲ聽クコトガ條件トサレテ居ルヤウデアリマス、其ノ他ノ條項ノ、當事者間ニ爭ヒガアルト云フヤウナ場合ニモ、鑑定委員會ノ意見ヲ聽クコトガ出來ルノカ、サウ云フ場合ニハ鑑定委員會ノ意見ヲ聽カナイト云フコトニナツテ居リマス

○古島政府委員 聽カネバナラヌト云フコトハ、借地借家ノ契約ノ内容ニ付テノ時ニハ、ドウシテモ聽カネバナラヌコトニ相成ルノデアリマス、簡單ニ申入ガ正當デアシタカ、マア正當ト言フト語弊ガアリマスガ、其ノ期間内ニヤラレタモノデアルカ、若シハ其ノ滅失シタル家屋、若シハ除去サレタル家屋ニ住ンデ居ッタ人デアアルカ、其ノ後ニ家屋ガ建テアルノデアアルカト云フヤウナコトノ判定ノ時ニハ法律關係ノ部類ニ屬スル部分ハ、必ズシモ鑑定委員會ノ意見ヲ聽キマセヌデモ宜シイト思ヒマス、若シハ先程申シマシタ、既ニ受取ツタ金等ニ付テ、之ヲ適當ナ處分ヲスル、詰リ申セバ、ソレヲ相殺ノ金ニスルカ、或ハ月賦拂ニスルカ、若シハ之ニ向ツテ擔保ヲ供セサルカト云フヤウナ、既ニ不當ナ金ヲ受取ツタ、其ノ金ノ處分等ニ付テノ判斷等ニハ、是ハ聽カヌデモ宜イ方ニナルト思フノデアリマス、併シナガラ、少クトモ是ガ高イカ安イカト云フヤウナコトニ付テハ、是ハ當然聽カネバナラヌコトダト思フノデアリマス、即チ前記諸メテ申シマスル、法律上ノ關係ニ於ケル紛爭ハ、聽カヌデモ宜イ部分ガ多分ニアリマス、契約内容ニ付テノ事項ハ、聽カネバナラヌ部分ガ殆ド全部ダト存ジマス、左様ナコトニ思フノ願ヒタイト思ヒマス

○酒井委員 ソレデハ大藏當局ニ對シマシテ少シクホテ思ヒタイト思ヒマス、前ノ土曜日ニ色々應答サレタ事柄ニ關スルノデアリマス、罹災者デアリマシテ、本法案ガ法律ニナツタ場合、此ノ法律ニ依ツテ所謂保護サレル資格罹災者ハ、罹災ノ當時家ヲ借リテ居リマシテ、サウシテ此ノ法律上ノ權利ヲ持ツテ居ル者、即チ此ノ條文ノ通り、此ノ法律實施ノ時カラ一箇年以内ニ適法ニ賃借ノ申出ヲ致シマシテ、賃借契約ガ成立シタ場合ヲ考ヘテ見マスルト、折角法律ノ上デハ土地ノ賃借ヲ得、一應保護ヲ得タト云フコトニナリマシテモ、賃借ノ時カラ半箇年以内ニ、建物所有ノ目的デ、其ノ土地ノ利用ヲ始メナカツタ場合ニハ、結局是ハ解除サレルコトニナルノデアリマス、所ガ、法律ノ建前ト致シマシテハ、已ムヲ得ナイコトダト思ヒマスレドモ、實質

上カラ考ヘテ見マス、先日モ申シマシタヤウニ、罹災者ノ殆ド大部分ハ裸一貫、持ツテ居ル動産ナドト云フモノハ總テ燒カレシマシマシテ、多少ノ金ノアツタ者モアルカモ知レマセヌガ、其ノ後ノ經濟界ノ「インフレ」的ナ狀況ニ依リマシテ、全ク金モ使ヒ果シテシマツテ、其ノ日ノ生活ニモ困ルト云フヤウナ者ガ、其ノ數ニ於テ大部分デアリマス、サウ云フ者ニ、半箇年以内ニ建物ヲ建テル爲ニ其ノ實行ニ移ラナカツタナラバ、解除ニナルト云フコトデハ、形ノ上カラハ保護ヲサレマスレドモ、實質上カラハ是ハモウ無キモ同然、實ノ持戻レト云ツタヤウナコトニナツテシマフノデアリマス、ソコデ、今サウ云フ罹災者ノ人々ノ經濟關係ヲ見マスルノニ、彼等ガ持ツテ居ル唯一ノ資産ナルモノハ、彼ノ戰爭保險金デアリマス、其ノ保險金ガ唯一ノ財產ダト云フ人ガ多イノデアリマス、是ハ所謂特殊預金トサレ、使フコトガ出來ナカツタノデ、已ムヲ得ズ殘ツテ居アル、其ノ已ムヲ得ズ殘ツタモノガ財產デ、アトハ全ク裸一貫ト云フ狀態ノ人ガ非常ニ多イノデアリマス、私共モ罹災シテ同ジ狀態デアリマシテ、當時カラ裸一貫ニサレ、苦シイ生活ヲ續ケテ來テ居リマス、保險金モ、特殊預金ニナラナケレバイヤカ生活ニ振向ケラレテ居ツタノデアリマスガ、特殊預金ニナツタ爲ニ是ハ放ツテ居ツタト云フ大衆ニ取ツテハ、命ノ綱ノ財產デアアル、今度之ニ對シテ色々制限ガ施サレルノデアリマスガ、斯ウ云フモノマデモ無効ニスルト云フヤウナコトニナリマシテハ、如何ニ斯ウ云フ法律デ、元ノ地ニ歸ツテ家ヲ建テルト云フ權利ヲ認メテ貰ヒマシタ所ガ、空文ニ等シイモノ

ニナル譯デアリマス、大部分ノ人ガサウナル譯デアリマス、サウ云フ意味ニ於キマシテ、是ハモウ他ノ委員會、或ハ本會議アタリデ質問ガ度々アツタコトト思ヒマスガ、特殊預金ニ對シマスル處分ハ、一體ドウ云フ風ニナサレルモノカ、尙ホ一般のニハサウ云フ處分ハ仕方ガナイト致シマシテモ、此ノ法律ニ依ツテ再ビ元住ンダ所ニ戻ツテ家ヲ建テルト云フ出來ルト云フ適格者ニ對シテハ、何等カ其ノ特殊預金ヲ特別ニ或ル程度認メテ、サウシテ家ヲ建テサセテヤルト云フヤウナ、特別ナ方法ハ出來ナイモノカ、此ノ二點ニ付テ一寸承リタイト思ヒマス

○上塚政府委員 御答ヘ致シマス、戰災者ノ家屋建設ノ資金トシテ、戰災保險ニ掛ケテ居ツタ所ノ保險金ヲドウスルカト云フ御尋ネデゴザイマス、此ノ點ニ關シマシテハ、マダ茲ニハツキリト明言スル許シヲ得テ居リマセヌケレドモ、概念ヲ申上ゲマスレバ、或ル一定ノ限度ヲ設ケテ、ソレ以下ノ金額ノ保險金ニ對シテハ拂戻ヲ認メルコトニナツテ居リマス、其ノ限度ハ、一般庶民階級ノ保險金トシテハ相當ノ額デアリマスカラ、大部分ノ人ハソレニ依ツテ救ハレ得ルト考ヘルノデアリマス、隨テ此ノ第七條ニアリマスル、六箇月ヲ經過シテモ正當ノ事由ガナクテ仕事ヲ始メルコトガ出來ナイト云フヤウナコトハ、恐ラク普通ノ人ニ於テハ解消セラル、デハナイカト考ヘルノデアリマス、又萬一ソレガ遅レタト致シマシテモ、其ノ遅レタ事由ニ依ツテ着手スルコトガ出來ナイノデアリマスカラ、此ノ第七條ノ規定ガ、罹災者ニ取ツテ無効ニナルト云フコトハアルマイト考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス

○古島政府委員 鑑定委員會ハ先程モ申シタヤウニ、裁判所ノ一諮問機關デアリマスルカラ、ドウシテモ鑑定委員會ノ意見ヲ聽カネバナラヌト云フ條項モアリマス、又場合ニ依レバ、鑑定委員會ノ意見ヲ必ズシモ聽カヌデモ判斷ノ出來ル部分モアルノデアリマス、主トシテ法律關係等ニ付キマシテノ判斷ハ、鑑定委員會ノ鑑定ヲ聽キマセヌデモ、出來ル部分ガ多分ニアルト存ジマス、若シハ適當ナ處分ヲスルト云フヤウナ意味合ニ於ケル處分行為ノ如キハ、是ハ鑑定委員會ノ意見ヲ聽カヌデモ、十分裁判所ダケ出來ルコトト思フノデアリマス、ソコデドウシテモ鑑定委員會ノ意見ヲ聽カネバナラヌト云フ部分ハ、條件ニ付テ、所謂契約ノ内容條件ニ付テノ協議ガ調ハナイト云フヤウナ場合ニハ、是ハ聽カネバナラヌコトデアル、所ガ其ノ鑑定委員會ノ決議ニ、裁判所ガ必ズ拘束サレルカト云フト、必ズシモ是ハ強制的ニ拘束サレルモノデハナイト思フノデアリマス、詰リ言ヘバ、判斷機關デナクテ諮問機關ナルガ故ニ、其ノ決議ヲ材料ト致シテ、裁判所ガソレヲ採リ入レテ、最後ノ判定ヲスレバ宜イノデアリマスカラ、權限ト申シマシテモ、其ノ契約ノ内容、條件等ガ果シテ適當デアルカ、妥當デナイカト云フコトノ判定ヲ與ヘルダケノ程度ニナリマシテ、ソレヲ採用スルカ採用シナリカト云フコトハ、法ノ精神上明カダト思フノデアリマス、從ツテ鑑定委員會ノ權限ニ於キマシテモ、諮問サレタ事項ニ向ツテノ決定ヲ與ヘル決議ヲスルト云フ程度ニナリマシテ、此ノ法ノ十九條ノ書き方、或ハ二十一條ノ、秘密ニヤツテ意見ダケ述ベルト云フ意味合カラ見ルト云フト、サウ云フ風ニ斷定ガ出來ルト信ズルノデアリマス

○酒井委員 十五條、十七條ニハ鑑定委員會ノ意見ヲ聽クコトガ條件トサレテ居ルヤウデアリマス、其ノ他ノ條項ノ、當事者間ニ爭ヒガアルト云フヤウナ場合ニモ、鑑定委員會ノ意見ヲ聽クコトガ出來ルノカ、サウ云フ場合ニハ鑑定委員會ノ意見ヲ聽カナイト云フコトニナツテ居リマス

○古島政府委員 聽カネバナラヌト云フコトハ、借地借家ノ契約ノ内容ニ付テノ時ニハ、ドウシテモ聽カネバナラヌコトニ相成ルノデアリマス、簡單ニ申入ガ正當デアシタカ、マア正當ト言フト語弊ガアリマスガ、其ノ期間内ニヤラレタモノデアルカ、若シハ其ノ滅失シタル家屋、若シハ除去サレタル家屋ニ住ンデ居ッタ人デアアルカ、其ノ後ニ家屋ガ建テアルノデアアルカト云フヤウナコトノ判定ノ時ニハ法律關係ノ部類ニ屬スル部分ハ、必ズシモ鑑定委員會ノ意見ヲ聽キマセヌデモ宜シイト思ヒマス、若シハ先程申シマシタ、既ニ受取ツタ金等ニ付テ、之ヲ適當ナ處分ヲスル、詰リ申セバ、ソレヲ相殺ノ金ニスルカ、或ハ月賦拂ニスルカ、若シハ之ニ向ツテ擔保ヲ供セサルカト云フヤウナ、既ニ不當ナ金ヲ受取ツタ、其ノ金ノ處分等ニ付テノ判斷等ニハ、是ハ聽カヌデモ宜イ方ニナルト思フノデアリマス、併シナガラ、少クトモ是ガ高イカ安イカト云フヤウナコトニ付テハ、是ハ當然聽カネバナラヌコトダト思フノデアリマス、即チ前記諸メテ申シマスル、法律上ノ關係ニ於ケル紛爭ハ、聽カヌデモ宜イ部分ガ多分ニアリマス、契約内容ニ付テノ事項ハ、聽カネバナラヌ部分ガ殆ド全部ダト存ジマス、左様ナコトニ思フノ願ヒタイト思ヒマス

○酒井委員 ソレデハ大藏當局ニ對シマシテ少シクホテ思ヒタイト思ヒマス、前ノ土曜日ニ色々應答サレタ事柄ニ關スルノデアリマス、罹災者デアリマシテ、本法案ガ法律ニナツタ場合、此ノ法律ニ依ツテ所謂保護サレル資格罹災者ハ、罹災ノ當時家ヲ借リテ居リマシテ、サウシテ此ノ法律上ノ權利ヲ持ツテ居ル者、即チ此ノ條文ノ通り、此ノ法律實施ノ時カラ一箇年以内ニ適法ニ賃借ノ申出ヲ致シマシテ、賃借契約ガ成立シタ場合ヲ考ヘテ見マスルト、折角法律ノ上デハ土地ノ賃借ヲ得、一應保護ヲ得タト云フコトニナリマシテモ、賃借ノ時カラ半箇年以内ニ、建物所有ノ目的デ、其ノ土地ノ利用ヲ始メナカツタ場合ニハ、結局是ハ解除サレルコトニナルノデアリマス、所ガ、法律ノ建前ト致シマシテハ、已ムヲ得ナイコトダト思ヒマスレドモ、實質

上カラ考ヘテ見マス、先日モ申シマシタヤウニ、罹災者ノ殆ド大部分ハ裸一貫、持ツテ居ル動産ナドト云フモノハ總テ燒カレシマシマシテ、多少ノ金ノアツタ者モアルカモ知レマセヌガ、其ノ後ノ經濟界ノ「インフレ」的ナ狀況ニ依リマシテ、全ク金モ使ヒ果シテシマツテ、其ノ日ノ生活ニモ困ルト云フヤウナ者ガ、其ノ數ニ於テ大部分デアリマス、サウ云フ者ニ、半箇年以内ニ建物ヲ建テル爲ニ其ノ實行ニ移ラナカツタナラバ、解除ニナルト云フコトデハ、形ノ上カラハ保護ヲサレマスレドモ、實質上カラハ是ハモウ無キモ同然、實ノ持戻レト云ツタヤウナコトニナツテシマフノデアリマス、ソコデ、今サウ云フ罹災者ノ人々ノ經濟關係ヲ見マスルノニ、彼等ガ持ツテ居ル唯一ノ資産ナルモノハ、彼ノ戰爭保險金デアリマス、其ノ保險金ガ唯一ノ財產ダト云フ人ガ多イノデアリマス、是ハ所謂特殊預金トサレ、使フコトガ出來ナカツタノデ、已ムヲ得ズ殘ツテ居アル、其ノ已ムヲ得ズ殘ツタモノガ財產デ、アトハ全ク裸一貫ト云フ狀態ノ人ガ非常ニ多イノデアリマス、私共モ罹災シテ同ジ狀態デアリマシテ、當時カラ裸一貫ニサレ、苦シイ生活ヲ續ケテ來テ居リマス、保險金モ、特殊預金ニナラナケレバイヤカ生活ニ振向ケラレテ居ツタノデアリマスガ、特殊預金ニナツタ爲ニ是ハ放ツテ居ツタト云フ大衆ニ取ツテハ、命ノ綱ノ財產デアアル、今度之ニ對シテ色々制限ガ施サレルノデアリマスガ、斯ウ云フモノマデモ無効ニスルト云フヤウナコトニナリマシテハ、如何ニ斯ウ云フ法律デ、元ノ地ニ歸ツテ家ヲ建テルト云フ權利ヲ認メテ貰ヒマシタ所ガ、空文ニ等シイモノ

○上塚政府委員 御答ヘ致シマス、戰災者ノ家屋建設ノ資金トシテ、戰災保險ニ掛ケテ居ツタ所ノ保險金ヲドウスルカト云フ御尋ネデゴザイマス、此ノ點ニ關シマシテハ、マダ茲ニハツキリト明言スル許シヲ得テ居リマセヌケレドモ、概念ヲ申上ゲマスレバ、或ル一定ノ限度ヲ設ケテ、ソレ以下ノ金額ノ保險金ニ對シテハ拂戻ヲ認メルコトニナツテ居リマス、其ノ限度ハ、一般庶民階級ノ保險金トシテハ相當ノ額デアリマスカラ、大部分ノ人ハソレニ依ツテ救ハレ得ルト考ヘルノデアリマス、隨テ此ノ第七條ニアリマスル、六箇月ヲ經過シテモ正當ノ事由ガナクテ仕事ヲ始メルコトガ出來ナイト云フヤウナコトハ、恐ラク普通ノ人ニ於テハ解消セラル、デハナイカト考ヘルノデアリマス、又萬一ソレガ遅レタト致シマシテモ、其ノ遅レタ事由ニ依ツテ着手スルコトガ出來ナイノデアリマスカラ、此ノ第七條ノ規定ガ、罹災者ニ取ツテ無効ニナルト云フコトハアルマイト考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス

○酒井委員 私人尋方少シ悪カ

タト見エマシテ、御答ヘガビツタリシ
テ居ナイヤウデアリマス、結局大蔵當
局ノ仰シヤルハ、零細ナ戦災保險金
ハ拂ツテヤル、ダカラ此ノ六箇月ノ期
間内ニ間ニ合ハセルト云フ御答ヘノヤ
ウデアリマスガ、ソレハ零細ナ保險金
ヲモ唯一ノ財産ニシテ居ルヤウナ者
ハ、全然此ノ第六條ノ六箇月ノ期間内
ニ、建物ヲ建テルコトニ著手スルト云
フコトハ出来ナイ部類ノ人デアリト思
ヒマス、坪三千圓モ五千圓モ、或ハ六
千圓モト云フヤウナ建物ハ、假令十坪
ノ家ニシテモ、中々出来ソコナト私
共思フノデアリマス、私ガ聴キマシ
タノハ、サウシ建テ得ル所ノ財力ナ
テ、特ニ建物ヲ建テ得ル所ノ財力ナ
ル者、詰リ特殊預金ヲ多額ニ持ツテ居
ル、斯ウ云フ者ニ對シテハ、何等カ特
別ノ方法ヲ以テ其ノ特殊預金ヲ解除シ
テ、相當額ヲ得、特ニ罹災者デアリマ
スルカラ、ソレヲ助ケル意味デ之ヲ支
拂ツテヤルト云フ、特別ノ方法ハ考ヘ
ラレナイカト云フ意味ノ御答デアリ
マス

○酒井委員 是ハ私ノ黨ノ人カラ、特

ニ尋ネテ實ヒタイト云フ注文付キノ質
問デアリマスガ、私立學校ナドガ罹災
致シマシテ、保險ニハ相當掛ツテ居ル、
併シナガラ御存ジノ通り私立學校ノ經
營、大キナ大學ナドハ知リマセヌガ、
中等私立學校ナドハ、相當財源ノニハ
困難ナ状態ニアルモノデアリマシテ、
其ノ私立學校ノ財産ノ本デアル校舍、
或ハ色々ナ器具、機械、斯ウ云フモノ
ガ島有ニ歸シタ後ハ、到底保險金ヲ別
ニシテハ再起ノ途ガナイト云フノガ大
部分デアアル状態デアリマス、是ハ社會
公共的ナル事業デアリ、事教育ニ關ス
ル事業デアリマス、罹災シタガ爲ニ私
立學校ガ大部分閉鎖ニナツテシマフト
云フヤウナコトハ、國家教育ノ上カラ
見マシテモ一大問題ダト思フノデアリ
マスルガ、サウ云フモノノ戰爭保險ニ
付キマシテハ、何カ特別ノ御考慮ガ拂
ハル、ノゴザイマセウカ、御伺ヒ致
シマス

○上塚政府委員 文教ノ忽セニスベカ

ラザルコトニ付キマシテハ、一昨日衆
議院ニ於ケル各派共同ノ提案ニ懸ル文
教再興ノ決議案ニ對シマシテモ、全會
一致ヲ以テ通過シタヤウナ状態デアリ
マス、現政府ト致シマシテモ、文教ノ
再興ニ付テハ最善ノ努力ヲ拂ツテ居ル
ヤウナ次第デアリマス、隨テ今御話ノ
如ク、罹災學校ハ其ノ復舊ニ付キマシ
テハ非常ニ困ツテ居ル、萬一保險金等
ガ取レナイト云フコトニナリマス、ト
復舊ガ難カシイコトハ御話ノ通りデア
リマス、斯クノ如キ教育施設ノ復舊等
ニ關シマシテハ、他ト違ツタ取扱ヲ致
サナクチャナラヌト云フ考ヘヲ以テマ
シテ、目下其ノ取扱方ニ付キマシテ專
ラ研究中デアリマス、出来ルダケ復興

ノ出来ルヤウニ、或ハ保險金ヲ以テス

ルカ、他ノ方法ヲ以テスルカ分リマセ
ヌガ、努力ヲ續ケテ居ルヤウナ次第デ
ゴザイマス
○酒井委員 當局ニ於ケレマシテ、尙
ホ現在確定シタ所ノ案ヲ御持チニナラ
ヌカモ分リマセヌガ、大體ノコトハ恐
ラク決ツテ居ラレルト思ヒマスル
ガ、復興ハ保險金ナリ或ハ他ノ何等カ
ノ補助金ナリニ依ツテハ、必ず出来ルト
云フコトニナリマスルカ、ソレハ一寸
難カシイト云フコトデアリマスルカ、
勿論五年十年後ノコトハ別問題デアリ
マス、學校ノ仕事ハ何時マデモ餘裕ヲ
持ツ譯ニ行カナイ仕事デアリマス、至
急ドチラカノ方法デ、必ず復舊ノ見透
シハ付クノカ、付カナイノカ、ドノ程
度マデ政府デ是ガ決マツテ居ルノカ、
御答辯願ヒタイ
○上塚政府委員 今御趣旨ニ沿ウテ努
力中デアリマス、具體的ナルコトヲ申上
ゲル時期ニハマダ達シテ居リマセヌ、
出来ルナラバ今期議會ニ於テ、サウ云
フモノノ提案ガ出来ルヤウニ致シタイ
ト云フ考ヘヲ以テ努力中デアリマス
○酒井委員 大藏當局ニ對スル御尋ネ
ハ此ノ程度デ終リマス
次ニ司法當局ニ御尋ネ致シタイノデ
アリマスガ、先日司法當局ノ御答辯
デハ、此ノ法律ガ實施ニナルノハ、大
體十月一日カラダト云フコトヲ聽キマ
シタガ、其ノ豫定ニ間違ヒゴザイマセ
ヌカ
○古島政府委員 御承知ノ通り國家總
勳員法ガ廢止ニナリマシテ、同法ガ廢
止ニナツタ結果ハ、ソレニ關シテノ勅
令若クハ非常處置、左様ナモノガ同廢
止法ノ附則ニ依リマシテ、廢止ノ公布
ノアリマシタ後六箇月シカ效力ガナイ

ノ中、千乃至二千ヲ超ユル市町村及ビ

ソレニ隣接スル町村ニハ、全部之ヲ適
用致シタイト云フ考ヘデゴザイマス
○酒井委員 最後ニ、是ハ御答辯ヲ戴
ケルカドウカ分リマセヌガ、私共小サ
ナ政黨デアリマスガ、此ノ法案全部ヲ
眺メテ見マシテ、客觀的ニ又正シク眺
メテ見マシテ、形式的ニハ一應罹災者
ノ保護ト云フコトハ整ツテ盛ラレテ居
リマスガ、實質上ニ付テ見マス、全
ク是ハ單ナル空文ニ歸スル、都市復興
ノ促進ト云フ點ニ付キマシテモ、此ノ
法案デハ其ノ目的ヲ達スル部分ガ、一
體トノ程度アルカトマデ考ヘラレマ
ス、唯此ノ法案ガ果スデアラウ其ノ
目的ハ、土地建物ニ關スル法律關係ヲ
一應整理スルコトガ出来ルト思ヒマス、罹
災者ニ對スル保護ナント云フ點ニ付キ
マシテハ、昨日モ私ガ色々ナ觀點カラ
御尋ネ致シタノデアリマスルガ、結
局政府當局ニ於ケレタハ、金ノアル者、
物ヲ持ツテ居ル連中ハ助ケヤルガ、
實力ノナイ者、金ノナイ者、物ヲ持
ナイ者、サウ云フ者ヲ救フ法律ヂヤナ
イ、サウ云フ目的ハ此ノ法律ハ持ツテ
居ナイ、斯ウ云フ答辯デアリマシタガ、
是ハ私ハ時代ニ反スル考ヘデアリ、以
テノ外ノ考ヘデアルト思フノデ、事實
此ノ法律ハ條文ダケハ、罹災ヲ致シ
マシタ所ノ大衆ノ八割、九割マデハ絶
對ニ救ハレナイノデアリマス、外ニ何カ
方法ヲ考ヘテ救ケナイカト云ヘバ、一
向該意アル御答辯ヲ得ラレナイ、結局
此ノ條文ダケガ物ヲ言フト云フコトニナ
リマスレバ、金ノナイ者、物ノナイ者、
是ガ假ニ都市ノ輸入ガ許サレテ、賃借權
ガ此ノ條文ニ依ツテ保護サレテ成立シ
タト致シマシテモ、半年以内ニ家ヲ

造ル爲ニ著手スル、引續イテ建物ヲ完成
スルト云フヤウナ力ノアル者ガ、幾人
アルカト私ハ言ヒタイノデアリマス、
斯ウ云フ事實ハ政府當局モ能ク御存ジ
ノコトデアリマス、御存ジノコトデアリ
ナガラ、力ノナイ者ハ仕方ガナイト云
フヤウナコトデ、此ノ罹災者保護ナン
ト云フ目的ヲ掲ゲルコトガ、私ハ以テ
ノ外デト思フノ國民デアリマス、極端ニ言
ヘバ、是ハ寧ロ國民大衆ヲ隔著スルモ
ノコトデアリマス、私ハ言ヒ切ルコトガ出来
ルト思ヒマス、尙ホ此ノ法律ノ建前カラ
致シマシマス、他ニ保護ノ途ガナイ譯
デヤナイ、先日モ御尋ネラ致シマス
ヤウニ、永年父祖ノ時代カラ其ノ家ニ
住ミ、其ノ家ニ住シテ故ニ其ノ土地
のナ値打、其ノ家ノ値打ト云フモノニ
依ツテ生キテ來タ無形のナ財産ト云フ
モノガ、ソコニ存シタ管デアル、ソレ
ガ爲ニ歸シタノデアアル、サウシテ地
主ノ側カラ申シマスレバ、其ノ無形の
ナ權利ヲ自分ガ買収シテ、此ノ土地ヲ
何トカ利用スルト云フコトニナレバ、
相當ナ金ヲ出サナケレバナラヌ管デア
ル、不可抗力ニ依ツテ、結局罹災者ハ
其ノ無形のナ權利ヲ失フタノデアアル
ガ、地主側カラ言ヘバ、エライ厄介ノ
附著シテ居ツタ權利ガ取リ拂ハレタノ
デアアル、カカサウ云フ無形のナ權利、
而モ其ノ暖簾ニ附著シタ所ノ暖簾金ト
云フヤウナ特殊のナモノデナクテ、場
所のナ、客觀的のナ、無形の權利ト云フ
モノガアル譯デアアル、其ノ範圍ニ於テ
ハ、地主或ハ借地人、斯ウ云フ者ニ買
取ルノ義務ヲ一ツ認メタラドウカト云
フ御尋ネラシタノニ對シテモ、何等ド
ウモ考慮ノ餘地モナイ程アツサリト、
サウ云フコトハ考ヘテ居ナイト云フコ
トデアリマスガ、眞ニ今罹災ヲ致シマ

シテ、家ヲ失ツテ居ル者ノ其ノ生キ方、
金モナケレバ衣類什器モナイ、食フニ
食ガナイト云フ哀れナ状態デアリマ
ス、一般ノ人々モ、アノ戰災ノ當時ハ
同情ノ餘リ家ノ一間ヲ貸シタリ、離
レテ貸シタリシタノデアリマスルガ、
其ノ後日ガ經ツニ從ヒマシテ、而モ一
年モ經ツタ今日、已ムヲ得ズ、他ヘ疎
閑シテ同居シテ居ル罹災者ノ人々ノ
生活ヲ見マスルト、堪ハレ、迫害サレ、
全ク氣ノ毒ナ状態ニアルノデアアリ
マス、サウ云フ姿ヲ政府當局ハ知ラレ
ナイ管ハナイノデアリマス、此ノ法案ガ
罹災者保護ノ其ノ目的ヲ眞先ニ掲ゲタ
以上、實質上ニ其ノ罹災者ノ保護ガナ
サレルト云フ建前ノ下ニ御考慮ノ願ハ
ナケレバ、結局是ハサウ云フ方面ニ於
テハ一ツノ空文ニ過ギナイト私ハ考ヘ
ルノデアリマス、此ノ法律ノ條件ノ通
リ、借りテカラ半年以内ニ建物ヲ建
ルコトニ著手シ、引續イテ之ヲ完成ス
ルヤウナ力ノアル者ガ幾人アルカ、サウ
云フ點ニ於キマシテ、私共ハ此ノ形式
のナ條文、此ノ法案、之ニ付テハドウ
シテモ不満足ノ意ヲ表セザルヲ得ナイ
ノデアリマス、勿論政府當局ニ於テモ、
此ノ罹災者大衆ヲ救フト云フコトニ全
然御考ヘガナイ譯デアリナイデアリマ
スガ、私共ニ言ハセマスルト、是ハ少
シ不遜ニ當ルカモ分リマセヌガ、官僚
ノ排撃ヲ叫ビナガラ、知ラズ識ラズノ
中ニ官僚のナ立法ヲナシ、官僚のナ政
治ヲナスト云フコトガ何處モ繰返サレ
テ來マシタ、是ハ日本ノ政治ノ歴史上
ノ事實デアリマスガ、今尙ホ民主主
義ヲ唱ヘ、民主政治ヲ口ニシナガラ、
ヤハリ斯ウシタ國民大衆ノ保護ト云フ
ヤウナ點ニナルト骨抜キニナル、形式
ダケノ法案ヲ竝ニ作リ上ゲル、何ト之ヲ

見マシテモ、客觀的ニ見マシタ場合ニ、
私ハ大衆罹災者ニ取ツテ、是ハ單ナル
高嶺ノ花ト申シマスカ、手折ルコトノ
出來ナイモノニ過ギナイト私ハ考ヘ
ルノデアリマス、ドウカサウ云フ點ニ於
キマシテ、政府當局ハ何トカ之ニ實質的
ナ效果ヲ持タセルヤウナ御考慮ヲ拂
テ戴キタイト思フノデアリマス、御答
辯方頗ヘルコトナラバ、御願ヒシタイ
ト思ヒマス
○古島政府委員 酒井サニニ大分御叱
リヲ受ケマシテ、洵ニ恐縮デアリマス、
併シナガラ酒井サニモ御承知ノ通り、
法律ハ萬能管デハナイノデアリマス、
一日のヲ立テテヤツテ全體ガ救済出來
ルコトニナレバ、法律ガ幾本ニモ分レ
ル必要ハナクナルノデアリマス、一本
デ助カルヤウナ法律ガアリマスレバ、
ソレ程結構ナコトハアリマセヌガ、殘
念ナガラ今日ノ知識ノ程度デハ、到底
サウ云フコトハ企圖出來ナイノデアリ
マス、本法案ガ金持ノミヲ救フノデア
ル、若シハ建テル資力ノ有ル者ノ
ミヲ救済スルノデアルト云フヤウナコ
トヲ、政府委員カ答ヘタト云フコトヲ
仰セニナリマシタガ、左様ナ答ヘハ一
度モ致シタコトハアリマセヌ、疎開シ
テ他ニ行ツテ居ル者ガ轉入シタ場合ニ
ドウダト言ハレルカラ、轉入スル方法
等ハ他ニ講ジテ戴イテ、轉入シテ參
タガコツチデ家屋ヲ建テルコトガ出來
ナイト云フヤウナ場合ニハ、本法ガ活
動スルノダ、又コチラニ居リマシテ、
假設建設物ヲ拵ヘマシテ、ソレニ辛
ウジテ住ンデ居ツタガ、今度ソレガ取
ハレテ、更ニ又他ノ疎開先、替地等ニ
行ツテ建テラレタ場合等モ、是モ假想
ヲ致シテ、其ノ救済ノ策モ講ジテ居
マス、若シハ又疎開スル資金モナシ、

コチラデ假設建設物ヲ建テルコトガ出
來ナクテ、全ク戰爭當時ノノ防空壕
ノ中ニ辛ウジテ棲息致シテ居ルト云
スヤウナ、本當ノ下積ミ階級ノ人達ノ
其ノ窮境モ察シマシテ、其ノ人達ガ
住地若シハ自分ガ借りテ居ル土地ニ
家屋ヲ建設スル場合ニハ、ソレニ向ツ
テ借入ヲ申込メバ優先的ニ借リルコ
トガ出來ルト云フヤウナ、左様ナ階級
ノ人マデモ救済出來ルヤウニ、是ハ考
慮致シテ居ルノデアリマス、言葉ヲ換
ヘテ申シマスルト、本法ノ立案ハ、大
キク言フナラバ、衣食住中ノ住ニ付
テノ窮境ヲ救済シヨウト云フノガ本法
ノ目的デアリマス、食ノ問題、衣ノ問題、
或ハ其ノ他ノ醫療ノ問題ト云フヤウ
ナ、戰災者ノ困窮致シテ居リマスル萬
般ノコトヲ、此ノ一本ノ法律デ救済ス
ルノデアリマス、此ノ一本ノ法律ヲ以テ全
部ノ戰災者ガ救済出來ルカト云ヘバ、
勿論是ハ申上ゲルマデモナイ、救済ス
ルコトガ出來ナイノハ當然デアリマス
ガ、ソレハ法律ノ粗ヒデハナイノデア
リマス、詰リ住ノ問題ニ付テ、之ヲ解
決致シタイト云フ希望ヲ持ツテ居ル
デアリマス、而モ先般酒井サニガ御質
問ノ際、暖簾等ノコトニ付テハ更ニ考
ヘナイデハナイカ、或ハ老舗ノコトニ付
テハ更ニ考ヘナイデハナイカト云フコ
トデアリマスガ、考ヘナイコトハアリ
マセヌ、此ノ法律ヲ能ク讀ンデ戴ケバ、
ドノ部類ニカソコハ出テ居リマス、マ
アコンナコトハ私ガ諒シ申ス必要ハ
アリマセヌガ、例ヘテ申シマスルト、此
ノ十六條ノ場合ニ於テモ、是ハ末項ニ
書イテアリマスガ、此ノ協議ノ調ハナ
カツタト云フヤウナ場合ニ於テハドウ
スルカト云フト、土地又は建物の狀況、

借主又は譲受人ノ職業その他一切の事
情を斟酌して、ト云フ其ノ中ノ職業
ノ如キハ、現ニ店ノコトモ考ヘ、其ノ
人ノ老舗デアアル、暖簾デアルト云フコ
トモ考ヘテ、而モ之ヲ斟酌シテ割當
スルト云フ所デアアル、細カイ所ニ注意
シテヤツテ居ルノデアリマス、斯様ナ
事情デ、之ヲ以テ全部ヲ救済スルト云
フコトハ、是ハ期待スルコトガ餘リ大
キイノデアリマス、此ノ法律ハ全ク無
駄ニナルカト云フト、無駄ドコロデハ
アリマセヌ、若シ戰時立法デアリマス
タ今ノ戰災地ノ戰時罹災土地物件令ガ
效力ヲ失スルト云フコトニナツテ、ソ
レガ目ノ前ニ見エテ居ルノデアリマス
アドウスルカト云フ問題ガ焦眉ノ急デ
アリマス、僅カ一箇月先ニハ是ガ失効
スルノデアアル、然ラバ折角今度假設
建設物ヲ拵ヘタ戰災者、若シハ疎開
住ンデ居ルト云フヤウナ此ノ條レム
キ戰災者ヲドウスルカト云フコトヲ、
先ヅ決著シナケレバナラヌノデアリ
マス、サウシテ、而モ遠クニ疎開ヲ致
シ若シハ避難ヲ致シテ居ル人達ガ、愈
々戰爭ガ濟ンダ、暫ク經ツタト云フ
デ、コチラヘ歸ツテ來テ、サア建テ
場所ガナイト云フヤウナコトガアツ
テハ大變デアアル、其ノ人達モ追々歸ル
ラウ、歸ルコトニナレバ之モ救済シ
ヤラナケレバナラヌト云フコトデ、ソ
コニ著目シテ本案ヲ拵ヘタノデアリ
マシテ、ドウカ此ノ法律ガ萬能管ノヤ
ウデアツテ、一切合財是デ救済スルト
云フヤウナ大キナ御期待ハ、ドウモ望
シ難クニハ參リマセヌガ、少クトモ
住關係ニ於テハ相當程度ニ於テ救済
得ラレルモノト存シマス、左様御
諒承ノ上ニ御協賛願ヒタイト存ジ
マス

○本田委員長 酒井君、一寸御注意デハナクテ御相談デスガ、是レ以上ハ意見ノ相違ト云フコトニナリハシナイカト思フシ、本案ニ付テハ希望條件ト云フヤウナコトモ御協議シタイと思ヒマスカラ……

ラレテ居ルデヤナイカ、是ハヤハリ法律ノ適用ヲ實質的ニ受ケルコトノ出來ルカノアル者ニ對シテハ是デ宜イ、斯ウ云フコトニナル、力ノナイ者ニ付テ見マス、十六條ニ付テハ私ハ同ジコトデアルト思フ、力ノナイ者ハ、如何ナル權利ヲ保證シテ貰ツタ所ガ何ニモナラヌノデカラ、形式上保證シタ以上、實質上之ニ伴フヤウニ、セメテ買取請求權位ハ認メテヤッタラドウカト云フコトヲ、御尋ネシタ譯デアリマス、而モ戰災者ノ保護ト云フコトヲ、此ノ立法ノ目的ノ第一ニ掲ゲテ居ル、其ノ第一ニ掲ゲテ居ラレルコトガ實質上十分デナイ、寧ロ殆ド骨抜きデト考ヘマ

ト致シマシテ、御承知ノ通り、東京其ノ他ノ都市ニ於キマシテハ、僅カニ、三千圓或ハ一、二萬圓ノ資本金ノ合名會社、合資會社ト云フ風ナモノガ澤山ゴザイマシテ、サウ云フモノガ一軒ナリ二軒ナリ家ヲ持つテ居ルノモアリマス、ソレカラ又家主ニ讓渡シテ居リマスモノデ二、三十軒、或ハ百軒ト云フ風ナ家ヲ持つテ居リマス合名會社、合資會社ト云フ風ナモノモアツテ、ソレガ燒ケテ同ジヤウニ、戰争保險ヲ取ツテ居ルト思フノデアリマスガ、同族ダケデ出來テ居リマス合名、合資ト云フヤウナ、二千圓、三千圓或ハ一、二萬圓ノ資本ノ名目ダケニ過ぎナイヤウナ法人ニ付キマシテハ、殆ド個人ト差別スベキ理由ガナイヤウニ考ヘラレマス、ソレカラ私ハ原則トシテ家主ヲ認メルモノデハアリマセヌケレドモ、零細ナ居住者ニ全部ノ家ノ復興ヲ任セルト云フコトモ中々困難デアルト思ヒマスノデ、此ノ際家主ノ持つテ居リマス家ヲ建テル技術、管理スル技術、サウ云フモノヲ國家的ニ統制シツ、利用スルコトモ、復興ノ爲ノ一ツノ方法デハナイカト考ヘ

五萬圓以上ノモノハ課税トシテ取ツテ、モウナクナツテシマフノデアリマセウカ、此ノ點ヲ御伺ヒシタイノデアリマス、ソレカラ殘ル一定額ノ五萬圓ナラ五萬圓ト云フモノハ、是ハ封鎖貯金ニナリマスモノデセウカ、現金デ支拂出シガ出來ルモノニナリマスデセウカ、ソレカラ假ニ凍結サレルトシマスナラバ、其ノ凍結サレタ金額ヲ擔保トシテ、建物ノ建築、生活、サウ云フ風ナ特殊ナモノニ付キマシテハ特別ナ金融ガ出來ルモノデアアルカドウカ、是ダケノコトヲ御答ヘテ願ヒタイと思ヒマス

封鎖モ勿論解ケルコトニ相成ルノデアリマス、併シ其ノ時期ガイッデアアルカト云フコトニ付テハ、只今茲ニ申上ゲルコトハ出來マセヌ、第四ノ凍結ノモノヲ擔保トシテ金融スルコトガ出來ルカト云フ御尋ネデアリマスガ、是ハ出來マセヌ

○酒井委員 一言ダケデ終リマス、全ク私カラ言ハセマスルト、的外レノ御答辯ダト思ヒマス、此ノ法案ノ條文ノ實質上ノ恩惠ヲ浴スルコトノ出來ル力ノアル者ニ付テハ、此ノ條文ハ十分保護ヲシテ呉レマス、洵ニ結構ナ法案デアリマスルガ、力ノナイ者ニ對シマシテハ空文ニ等シイト私ハ申上ゲタ譯デ、而モ萬能將ト言ハレマスガ、是ハ萬能將ヲ要求シテ居ルモノデナシ、サウ云フ御答辯ヲ御伺ヒシタモノデハナイノデアリマシテ、第七條ノ關係ノミニ付テ見マシテモ、此ノ第七條ノ規定ガアル以上、六箇月ノ期間ガ條件トナツテ居ル、サウ云フ條件ガアル以上、力ノナイ者ニ取リマシテハ此ノ條件ヲ充タスコレガ出來ナイノデアリマス、

○本田委員長 武蔵君
○武蔵(逓)委員 大藏大臣ニ一點ダケ御伺ヒシマス、只今酒井サンカラ御尋ネニナリマシタ戰争保險ノコトニ關聯ヤスルノデアリマスルケレドモ、新聞紙ノ傳フル所ニ依リマスルト、戰争保險ヲ或ル程度認メルノハ個人ダケデアツテ、法人ハ全部打切ツテシマフト云フヤウナコトヲ聞イテ居リマス、例ヘバ個人ハ五萬圓マデ認メテソレ以上ハ打切ル、法人ハ全部打切ツテシマフ、斯ウ云フ風ニ見エテ居ルヤウデアリマスケレドモ、法人ト個人ト區別致シマスノデセウカ、又致シマスニ付キマシテハ、ドウ云フ點點カラ致シマスノデセウカ、大キイ軍需會社ト云フ風ナ法人ハ別

ト致シマシテ、御承知ノ通り、東京其ノ他ノ都市ニ於キマシテハ、僅カニ、三千圓或ハ一、二萬圓ノ資本金ノ合名會社、合資會社ト云フ風ナモノガ澤山ゴザイマシテ、サウ云フモノガ一軒ナリ二軒ナリ家ヲ持つテ居ルノモアリマス、ソレカラ又家主ニ讓渡シテ居リマスモノデ二、三十軒、或ハ百軒ト云フ風ナ家ヲ持つテ居リマス合名會社、合資會社ト云フ風ナモノモアツテ、ソレガ燒ケテ同ジヤウニ、戰争保險ヲ取ツテ居ルト思フノデアリマスガ、同族ダケデ來テ居リマス合名、合資ト云フヤウナ、二千圓、三千圓或ハ一、二萬圓ノ資本ノ名目ダケニ過ぎナイヤウナ法人ニ付キマシテハ、殆ド個人ト差別スベキ理由ガナイヤウニ考ヘラレマス、ソレカラ私ハ原則トシテ家主ヲ認メルモノデハアリマセヌケレドモ、零細ナ居住者ニ全部ノ家ノ復興ヲ任セルト云フコトモ中々困難デアルト思ヒマスノデ、此ノ際家主ノ持つテ居リマス家ヲ建テル技術、管理スル技術、サウ云フモノヲ國家的ニ統制シツ、利用スルコトモ、復興ノ爲ノ一ツノ方法デハナイカト考ヘ

○上塚政府委員 御答ヘ致シマス、戰災保險ノ支拂ニ付テ、個人ト會社ト區別スルカドウカト云フ御尋ネデアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ、色々新聞等ニモ發表サレテ居リマス、支拂ノ限度等ニ付テモ發表サレテ居リマスケレドモ、マダ政府トシテハソコニ觸レル譯ニハ參ラヌノデアリマス、極メテ近い機會ニ法案トシテハ議會ニ提出サレルト思ヒマスルケレドモ、マダ只今發表スル域ニ達シテ居リマセヌ、御諒承願ヒマス

○武蔵(逓)委員 第一點ノ法人ト個人ト區別スルカドウカト云フコトニ付テ、マダ御答辯ノ域ニ達シテ居ナイト云フコトデゴザイマスガ、先程申シタヤウニ、機械的ニ唯法人ト個人ト區別シテ、法人ハ打切リニスベキデハナイト云フヤウニ考ヘマスノデ、此ノ點ニ付キマシテハ、ドウカ十分御考慮ヲ願ヒタイト云フコトヲ申上ゲマシテ、此ノ質問ハ打切リマス、ソレカラ舊勘定ニナツタモノニ付テ、支拂期ガ到來シタ税金ハ之ヲ認メルト云フ御答辯デゴザイマシタガ、サウナリマスルト、私ノ伺ヒマシタ凍結シタ分ニ付テ、百「パーセント」ノ稅ヲ課ケテ打切同ジ效果ヲ稅ニ依ツテ舉ゲルト云フ御趣旨ナノデセウカ、ソレトモ別ニ支拂期ノ到來シタ税金ニ付テハ、其ノ中幾分デモアレバ、其ノ中カラ支拂ヲ認メル、併シ殘リモ豫想ハ出來ルト云フ御答ヘデセウカ、其ノ點ダケ伺ヒタイと思ヒマス

○本田委員長 酒井君、一寸御注意デハナクテ御相談デスガ、是レ以上ハ意見ノ相違ト云フコトニナリハシナイカト思フシ、本案ニ付テハ希望條件ト云フヤウナコトモ御協議シタイと思ヒマスカラ……

ラレテ居ルデヤナイカ、是ハヤハリ法律ノ適用ヲ實質的ニ受ケルコトノ出來ルカノアル者ニ對シテハ是デ宜イ、斯ウ云フコトニナル、力ノナイ者ニ付テ見マス、十六條ニ付テハ私ハ同ジコトデアルト思フ、力ノナイ者ハ、如何ナル權利ヲ保證シテ貰ツタ所ガ何ニモナラヌノデカラ、形式上保證シタ以上、實質上之ニ伴フヤウニ、セメテ買取請求權位ハ認メテヤッタラドウカト云フコトヲ、御尋ネシタ譯デアリマス、而モ戰災者ノ保護ト云フコトヲ、此ノ立法ノ目的ノ第一ニ掲ゲテ居ル、其ノ第一ニ掲ゲテ居ラレルコトガ實質上十分デナイ、寧ロ殆ド骨抜きデト考ヘマ

ト致シマシテ、御承知ノ通り、東京其ノ他ノ都市ニ於キマシテハ、僅カニ、三千圓或ハ一、二萬圓ノ資本金ノ合名會社、合資會社ト云フ風ナモノガ澤山ゴザイマシテ、サウ云フモノガ一軒ナリ二軒ナリ家ヲ持つテ居ルノモアリマス、ソレカラ又家主ニ讓渡シテ居リマスモノデ二、三十軒、或ハ百軒ト云フ風ナ家ヲ持つテ居リマス合名會社、合資會社ト云フ風ナモノモアツテ、ソレガ燒ケテ同ジヤウニ、戰争保險ヲ取ツテ居ルト思フノデアリマスガ、同族ダケデ來テ居リマス合名、合資ト云フヤウナ、二千圓、三千圓或ハ一、二萬圓ノ資本ノ名目ダケニ過ぎナイヤウナ法人ニ付キマシテハ、殆ド個人ト差別スベキ理由ガナイヤウニ考ヘラレマス、ソレカラ私ハ原則トシテ家主ヲ認メルモノデハアリマセヌケレドモ、零細ナ居住者ニ全部ノ家ノ復興ヲ任セルト云フコトモ中々困難デアルト思ヒマスノデ、此ノ際家主ノ持つテ居リマス家ヲ建テル技術、管理スル技術、サウ云フモノヲ國家的ニ統制シツ、利用スルコトモ、復興ノ爲ノ一ツノ方法デハナイカト考ヘ

五萬圓以上ノモノハ課税トシテ取ツテ、モウナクナツテシマフノデアリマセウカ、此ノ點ヲ御伺ヒシタイノデアリマス、ソレカラ殘ル一定額ノ五萬圓ナラ五萬圓ト云フモノハ、是ハ封鎖貯金ニナリマスモノデセウカ、現金デ支拂出シガ出來ルモノニナリマスデセウカ、ソレカラ假ニ凍結サレルトシマスナラバ、其ノ凍結サレタ金額ヲ擔保トシテ、建物ノ建築、生活、サウ云フ風ナ特殊ナモノニ付キマシテハ特別ナ金融ガ出來ルモノデアアルカドウカ、是ダケノコトヲ御答ヘテ願ヒタイと思ヒマス

封鎖モ勿論解ケルコトニ相成ルノデアリマス、併シ其ノ時期ガイッデアアルカト云フコトニ付テハ、只今茲ニ申上ゲルコトハ出來マセヌ、第四ノ凍結ノモノヲ擔保トシテ金融スルコトガ出來ルカト云フ御尋ネデアリマスガ、是ハ出來マセヌ

○酒井委員 一言ダケデ終リマス、全ク私カラ言ハセマスルト、的外レノ御答辯ダト思ヒマス、此ノ法案ノ條文ノ實質上ノ恩惠ヲ浴スルコトノ出來ル力ノアル者ニ付テハ、此ノ條文ハ十分保護ヲシテ呉レマス、洵ニ結構ナ法案デアリマスルガ、力ノナイ者ニ對シマシテハ空文ニ等シイト私ハ申上ゲタ譯デ、而モ萬能將ト言ハレマスガ、是ハ萬能將ヲ要求シテ居ルモノデナシ、サウ云フ御答辯ヲ御伺ヒシタモノデハナイノデアリマシテ、第七條ノ關係ノミニ付テ見マシテモ、此ノ第七條ノ規定ガアル以上、六箇月ノ期間ガ條件トナツテ居ル、サウ云フ條件ガアル以上、力ノナイ者ニ取リマシテハ此ノ條件ヲ充タスコレガ出來ナイノデアリマス、

○本田委員長 武蔵君
○武蔵(逓)委員 大藏大臣ニ一點ダケ御伺ヒシマス、只今酒井サンカラ御尋ネニナリマシタ戰争保險ノコトニ關聯ヤスルノデアリマスルケレドモ、新聞紙ノ傳フル所ニ依リマスルト、戰争保險ヲ或ル程度認メルノハ個人ダケデアツテ、法人ハ全部打切ツテシマフト云フヤウナコトヲ聞イテ居リマス、例ヘバ個人ハ五萬圓マデ認メテソレ以上ハ打切ル、法人ハ全部打切ツテシマフ、斯ウ云フ風ニ見エテ居ルヤウデアリマスケレドモ、法人ト個人ト區別致シマスノデセウカ、又致シマスニ付キマシテハ、ドウ云フ點點カラ致シマスノデセウカ、大キイ軍需會社ト云フ風ナ法人ハ別

ト致シマシテ、御承知ノ通り、東京其ノ他ノ都市ニ於キマシテハ、僅カニ、三千圓或ハ一、二萬圓ノ資本金ノ合名會社、合資會社ト云フ風ナモノガ澤山ゴザイマシテ、サウ云フモノガ一軒ナリ二軒ナリ家ヲ持つテ居ルノモアリマス、ソレカラ又家主ニ讓渡シテ居リマスモノデ二、三十軒、或ハ百軒ト云フ風ナ家ヲ持つテ居リマス合名會社、合資會社ト云フ風ナモノモアツテ、ソレガ燒ケテ同ジヤウニ、戰争保險ヲ取ツテ居ルト思フノデアリマスガ、同族ダケデ來テ居リマス合名、合資ト云フヤウナ、二千圓、三千圓或ハ一、二萬圓ノ資本ノ名目ダケニ過ぎナイヤウナ法人ニ付キマシテハ、殆ド個人ト差別スベキ理由ガナイヤウニ考ヘラレマス、ソレカラ私ハ原則トシテ家主ヲ認メルモノデハアリマセヌケレドモ、零細ナ居住者ニ全部ノ家ノ復興ヲ任セルト云フコトモ中々困難デアルト思ヒマスノデ、此ノ際家主ノ持つテ居リマス家ヲ建テル技術、管理スル技術、サウ云フモノヲ國家的ニ統制シツ、利用スルコトモ、復興ノ爲ノ一ツノ方法デハナイカト考ヘ

○上塚政府委員 御答ヘ致シマス、戰災保險ノ支拂ニ付テ、個人ト會社ト區別スルカドウカト云フ御尋ネデアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ、色々新聞等ニモ發表サレテ居リマス、支拂ノ限度等ニ付テモ發表サレテ居リマスケレドモ、マダ政府トシテハソコニ觸レル譯ニハ參ラヌノデアリマス、極メテ近い機會ニ法案トシテハ議會ニ提出サレルト思ヒマスルケレドモ、マダ只今發表スル域ニ達シテ居リマセヌ、御諒承願ヒマス

○武蔵(逓)委員 第一點ノ法人ト個人ト區別スルカドウカト云フコトニ付テ、マダ御答辯ノ域ニ達シテ居ナイト云フコトデゴザイマスガ、先程申シタヤウニ、機械的ニ唯法人ト個人ト區別シテ、法人ハ打切リニスベキデハナイト云フヤウニ考ヘマスノデ、此ノ點ニ付キマシテハ、ドウカ十分御考慮ヲ願ヒタイト云フコトヲ申上ゲマシテ、此ノ質問ハ打切リマス、ソレカラ舊勘定ニナツタモノニ付テ、支拂期ガ到來シタ税金ハ之ヲ認メルト云フ御答辯デゴザイマシタガ、サウナリマスルト、私ノ伺ヒマシタ凍結シタ分ニ付テ、百「パーセント」ノ稅ヲ課ケテ打切同ジ效果ヲ稅ニ依ツテ舉ゲルト云フ御趣旨ナノデセウカ、ソレトモ別ニ支拂期ノ到來シタ税金ニ付テハ、其ノ中幾分デモアレバ、其ノ中カラ支拂ヲ認メル、併シ殘リモ豫想ハ出來ルト云フ御答ヘデセウカ、其ノ點ダケ伺ヒタイと思ヒマス

○本田委員長 酒井君、一寸御注意デハナクテ御相談デスガ、是レ以上ハ意見ノ相違ト云フコトニナリハシナイカト思フシ、本案ニ付テハ希望條件ト云フヤウナコトモ御協議シタイと思ヒマスカラ……

ラレテ居ルデヤナイカ、是ハヤハリ法律ノ適用ヲ實質的ニ受ケルコトノ出來ルカノアル者ニ對シテハ是デ宜イ、斯ウ云フコトニナル、力ノナイ者ニ付テ見マス、十六條ニ付テハ私ハ同ジコトデアルト思フ、力ノナイ者ハ、如何ナル權利ヲ保證シテ貰ツタ所ガ何ニモナラヌノデカラ、形式上保證シタ以上、實質上之ニ伴フヤウニ、セメテ買取請求權位ハ認メテヤッタラドウカト云フコトヲ、御尋ネシタ譯デアリマス、而モ戰災者ノ保護ト云フコトヲ、此ノ立法ノ目的ノ第一ニ掲ゲテ居ル、其ノ第一ニ掲ゲテ居ラレルコトガ實質上十分デナイ、寧ロ殆ド骨抜きデト考ヘマ

ト致シマシテ、御承知ノ通り、東京其ノ他ノ都市ニ於キマシテハ、僅カニ、三千圓或ハ一、二萬圓ノ資本金ノ合名會社、合資會社ト云フ風ナモノガ澤山ゴザイマシテ、サウ云フモノガ一軒ナリ二軒ナリ家ヲ持つテ居ルノモアリマス、ソレカラ又家主ニ讓渡シテ居リマスモノデ二、三十軒、或ハ百軒ト云フ風ナ家ヲ持つテ居リマス合名會社、合資會社ト云フ風ナモノモアツテ、ソレガ燒ケテ同ジヤウニ、戰争保險ヲ取ツテ居ルト思フノデアリマスガ、同族ダケデ來テ居リマス合名、合資ト云フヤウナ、二千圓、三千圓或ハ一、二萬圓ノ資本ノ名目ダケニ過ぎナイヤウナ法人ニ付キマシテハ、殆ド個人ト差別スベキ理由ガナイヤウニ考ヘラレマス、ソレカラ私ハ原則トシテ家主ヲ認メルモノデハアリマセヌケレドモ、零細ナ居住者ニ全部ノ家ノ復興ヲ任セルト云フコトモ中々困難デアルト思ヒマスノデ、此ノ際家主ノ持つテ居リマス家ヲ建テル技術、管理スル技術、サウ云フモノヲ國家的ニ統制シツ、利用スルコトモ、復興ノ爲ノ一ツノ方法デハナイカト考ヘ

五萬圓以上ノモノハ課税トシテ取ツテ、モウナクナツテシマフノデアリマセウカ、此ノ點ヲ御伺ヒシタイノデアリマス、ソレカラ殘ル一定額ノ五萬圓ナラ五萬圓ト云フモノハ、是ハ封鎖貯金ニナリマスモノデセウカ、現金デ支拂出シガ出來ルモノニナリマスデセウカ、ソレカラ假ニ凍結サレルトシマスナラバ、其ノ凍結サレタ金額ヲ擔保トシテ、建物ノ建築、生活、サウ云フ風ナ特殊ナモノニ付キマシテハ特別ナ金融ガ出來ルモノデアアルカドウカ、是ダケノコトヲ御答ヘテ願ヒタイと思ヒマス

封鎖モ勿論解ケルコトニ相成ルノデアリマス、併シ其ノ時期ガイッデアアルカト云フコトニ付テハ、只今茲ニ申上ゲルコトハ出來マセヌ、第四ノ凍結ノモノヲ擔保トシテ金融スルコトガ出來ルカト云フ御尋ネデアリマスガ、是ハ出來マセヌ

○酒井委員 一言ダケデ終リマス、全ク私カラ言ハセマスルト、的外レノ御答辯ダト思ヒマス、此ノ法案ノ條文ノ實質上ノ恩惠ヲ浴スルコトノ出來ル力ノアル者ニ付テハ、此ノ條文ハ十分保護ヲシテ呉レマス、洵ニ結構ナ法案デアリマスルガ、力ノナイ者ニ對シマシテハ空文ニ等シイト私ハ申上ゲタ譯デ、而モ萬能將ト言ハレマスガ、是ハ萬能將ヲ要求シテ居ルモノデナシ、サウ云フ御答辯ヲ御伺ヒシタモノデハナイノデアリマシテ、第七條ノ關係ノミニ付テ見マシテモ、此ノ第七條ノ規定ガアル以上、六箇月ノ期間ガ條件トナツテ居ル、サウ云フ條件ガアル以上、力ノナイ者ニ取リマシテハ此ノ條件ヲ充タスコレガ出來ナイノデアリマス、

○本田委員長 武蔵君
○武蔵(逓)委員 大藏大臣ニ一點ダケ御伺ヒシマス、只今酒井サンカラ御尋ネニナリマシタ戰争保險ノコトニ關聯ヤスルノデアリマスルケレドモ、新聞紙ノ傳フル所ニ依リマスルト、戰争保險ヲ或ル程度認メルノハ個人ダケデアツテ、法人ハ全部打切ツテシマフト云フヤウナコトヲ聞イテ居リマス、例ヘバ個人ハ五萬圓マデ認メテソレ以上ハ打切ル、法人ハ全部打切ツテシマフ、斯ウ云フ風ニ見エテ居ルヤウデアリマスケレドモ、法人ト個人ト區別致シマスノデセウカ、又致シマスニ付キマシテハ、ドウ云フ點點カラ致シマスノデセウカ、大キイ軍需會社ト云フ風ナ法人ハ別

ト致シマシテ、御承知ノ通り、東京其ノ他ノ都市ニ於キマシテハ、僅カニ、三千圓或ハ一、二萬圓ノ資本金ノ合名會社、合資會社ト云フ風ナモノガ澤山ゴザイマシテ、サウ云フモノガ一軒ナリ二軒ナリ家ヲ持つテ居ルノモアリマス、ソレカラ又家主ニ讓渡シテ居リマスモノデ二、三十軒、或ハ百軒ト云フ風ナ家ヲ持つテ居リマス合名會社、合資會社ト云フ風ナモノモアツテ、ソレガ燒ケテ同ジヤウニ、戰争保險ヲ取ツテ居ルト思フノデアリマスガ、同族ダケデ來テ居リマス合名、合資ト云フヤウナ、二千圓、三千圓或ハ一、二萬圓ノ資本ノ名目ダケニ過ぎナイヤウナ法人ニ付キマシテハ、殆ド個人ト差別スベキ理由ガナイヤウニ考ヘラレマス、ソレカラ私ハ原則トシテ家主ヲ認メルモノデハアリマセヌケレドモ、零細ナ居住者ニ全部ノ家ノ復興ヲ任セルト云フコトモ中々困難デアルト思ヒマスノデ、此ノ際家主ノ持つテ居リマス家ヲ建テル技術、管理スル技術、サウ云フモノヲ國家的ニ統制シツ、利用スルコトモ、復興ノ爲ノ一ツノ方法デハナイカト考ヘ

五萬圓以上ノモノハ課税トシテ取ツテ、モウナクナツテシマフノデアリマセウカ、此ノ點ヲ御伺ヒシタイノデアリマス、ソレカラ殘ル一定額ノ五萬圓ナラ五萬圓ト云フモノハ、是ハ封鎖貯金ニナリマスモノデセウカ、現金デ支拂出シガ出來ルモノニナリマスデセウカ、ソレカラ假ニ凍結サレルトシマスナラバ、其ノ凍結サレタ金額ヲ擔保トシテ、建物ノ建築、生活、サウ云フ風ナ特殊ナモノニ付キマシテハ特別ナ金融ガ出來ルモノデアアルカドウカ、是ダケノコトヲ御答ヘテ願ヒタイと思ヒマス

封鎖モ勿論解ケルコトニ相成ルノデアリマス、併シ其ノ時期ガイッデアアルカト云フコトニ付テハ、只今茲ニ申上ゲルコトハ出來マセヌ、第四ノ凍結ノモノヲ擔保トシテ金融スルコトガ出來ルカト云フ御尋ネデアリマスガ、是ハ出來マセヌ

第六類第十三號 罹災都市借地借家臨時處理法案委員會議錄 第五回 昭和二十一年八月五日

三

三

三

三

とを必要とする場合は、ハ是デ宜イノ
デスガ、正當な事由があるものでなけれ
ば、第一項の申出を拒絶することので
きない、是ガ折角、此ノ法律ヲ骨抜き
ニシテシマツテ居リマス、ソコデ此ノ
正當な事由ト云フコトヲモット具體的
ニ——此ノ法律ニ若シ表ハサナイナラ
バ、司法省ノ方デ、是レノモノハ
正當ノ事由デアル、是レ以外ノモノハ
拒否スルコトガ出来ナイト云フモノ
ヲ、具體的ニ箇條書ニシテ、此ノ機會
ニ出ス意思ガアルカ、ナイカ、此ノ點
ヲ伺ヒマス

○古島政府委員 第二條ノ第三項ガ却
ツテ此ノ法律ヲ骨抜きニスルト云フ御
言葉デゴザイマスガ、ソレドコロデ
ハナイノデアリマス、斯ウ申シマスル
ト、或ハ御氣持ガ惡イカモ分ラヌノデ
アリマスガ、實際カラ申シマス、此
ノ條項ニ依リマシテ借地ノ申入レヲサ
レタ者ガ斷ルコトノ出来ナイコトヲ明
カニ致シタノデアリマス、即チ正當ナ
理由ガナイト勝手ニ斷ルコトガ出来ナ
イ、原則トシテハ其ノ儘申込ニ應ジナ
ケレバナラヌ、殊ニソレドコロデハナ
ク、默ツテ居ツタ時ニハ申込ガ直チニ
效力ヲ生ズルト云フコトサヘモ決メテ
居ルノデアリマシテ、此ノ條項ニ依ツ
テ却ツテ活カスト云フ目標ヲ付ケテ居
ルノデアリマス、ソレカラ正當な事由
ヲ悉ク假想シ得ルモノハ列挙シロト云
フコトデアリマスガ、御承知ノ通り、
總テノ法律上ノ、離婚問題ニ致シ
マシテモ、離婚問題ニ致シマシテモ、
數多例示ハ致シタアリマス、數多例示
ハ致シマシテモ、ドウシテモ萬般ノコ
トハ例示ガ出来ナイノデ、其ノ最後ニ
ハ其ノ他正當ノ理由ト、斯ウナル外ハ
法律ノ範圍トシテハ行カヌノデアリマ

ス、又今日豫想致シタコトガ、其ノ後
ニナツテ豫想外ノコトガ出テ參ルカモ
分ラヌノデアリマスカラ、立法當時ニ
於テ是ガ正當ナリト信ジタモノ、又正
當ナラズト信ジタモノモ、時ノ情勢ニ
依ツテソレガ正當ニ變ツテ來ルト云フ
コトモ、ナキニシモアラズデアリマ
ス、ソコデ例示ハ一、二ヲツツテ、後
ハ正當ノ理由ト言フコトニ致シマシ
テ、法律ニ彈力性ヲ持タセルト云フコ
トガ、却ツテ法律ヲ活カス所以デア
ルト存ジマシテ、斯様ナ條項ニ致シタ
ノデアリマス、左様御諒承ヲ願ヒマス

○大矢委員 ソレハ見解ノ相違デアリ
マス、是ハ今日マデ法律ノ適用ヲ致シ
マス場合ニ、取扱者ガ必ズ地主或ハ家主
ニ有利ニ之ヲ解釋シテ居リマス、是ハ
具體的ニ言ヒマスナラバ、例ヘバ明渡
シ申込ム時ニ、自分ノ親戚ヲ入レル
トカ、或ハ分居ヲサストカ言ツタヤウ
ナ、色々ナ理由ヲ付ケテソレヲ拒絶ス
ル、或ハ明渡シヨスルト云フコトニナ
ルノデ、明カニ斯ウ云フ場合ニハ拒
絶シテ宜シト云フコトガナケレバ、
此ノ解釋ト云フモノヲ、取扱ノ解釋ト
シテ色々ニ解釋スル、殊ニ借地人、借
家人ト云フモノハ、永イ間ノ慣習ニ依
リマシテ、オ上ニハ勢メテ厄介ヲ掛ケ
マイ、サウ云フ争ヒヲシマイト云フ所
ニ日本ノ風氣ガアリマシテ、裁判所ニ
厄介ヲ掛ケルコトヲ非常ニ嫌フノデア
リマスガ、之ヲ裁判所ニ持ツテ行ツ
テ、正當ノ理由ヲ述べルトスレバ、一
方ガ述べレバ争ハナケレバナラナイ、
其ノ點ヲ明白ニシテ置ケバ、借リルト
カ借リナイトカ、拒絶出來ルトカ云フ
コトガ直グ分ルケレドモ、此ノ正當ナ
理由ト云フノハ、先程申シマスルヤウ
ニ、其ノ人々ノ地代、或ハ其ノ環境、

立場ト云フモノニ依ツテ皆違フ、隨テ
之ニ依ツテ折角保護サレタ者モ、借地
或ハ借家ガ其ノ人々ニ十分保護サレナ
イト云フ結果ニナルト私ハ思ヒマス
ガ、ソレ以上ハ意見ノ相違デ、寧ロ私
共ハ是ガアルカライケナイノデ、斯ウ
云フ風ニ解釋シテ居ルノデアリマシ
テ、私ハ是レ以上問ヒマセヌ
次ニ此ノ法律ガ十一月一日カラ施行
サレルト云フコトデアリマスガ、國家
總動員法ニ依ル家賃地代ノ統制ガ九月
三十日消滅サレル、是ガ若シ消滅シタ
時ニハ、私ガ想像スルノニ、數倍ノ値
上ヲ今虎視眈眈トシテ地主ナリ、或ハ家
主ガ計畫シテ居ルト既ニ言ツタ來テ居
ル、之ニ對スル對策ガ果シアルカナ
イカ、是モ一ツ伺ヒタイト思ヒマス

○古島政府委員 御説ノ通りデアリマ
ス、實際地代家賃ノ統制令ガケナル
ト云フコトニナレバ、或ハ急激ナル値
上等モ豫想ガ出來ルノデ、是ハ、是
ハ社會政策上到底許サズニハ參ラヌ
デアリマスカラ、之ニ對シテハ適當ナ
處置ヲ執ラネバナラヌト云フコトハ、
申スマデモナイコトデアリマス、本法
ヲ成案スルニ當リマシテモ、其ノ點ハ
十分心ノ中ニ刻ミ込マシテ成案シテ
アルノデアリマス

○大矢委員 此ノ爲ニ今現在シテ居ル
所ノ借地借家調査法、アレワウツト活
用スルカ、或ハ又本法ニ鑑定委員會ト
云フモノガアリマスガ、サウ云フモノ
ヲ學校單位カ、或ハ大都市ノ區ヲ單位
トシテ、其處ニ出張所ヲ設ケル、一々
ソレニ諮ツテデナケレバ上ゲラレナイ
ト云フヤウナ、一ツノ法令デモ出ス
カ、或ハサウ云フ現在シテ居ル機關ヲ
活用スルト云フ意思ガアルカナイカ、
一ツ伺ヒ致シタイ

○古島政府委員 今回憲法改正ニナリ
マスレバ、簡易裁判所ヲ撤ハマシテ、
若シハ簡易裁判所ノ一部ト致シテ、
巡回裁判所ト云フヤウナコトモ考ヘテ
居ルノデアリマス、左様ナコトガ出來
マセヌ時代ニ於キマシテモ、曾テ色々
ノ周停ヲ出張所ニ於テヤリマシタ如
ク、大體ニ於テハ一箇所ニ纏メズニ、
出張所毎ニ處置スルト云フヤウナコト
ニ御用致シテ參リタイト思フノデアリ
マス

○大矢委員 ソレデハ最後ニ伺ヒマ
ス、今現ニ復興ノ途上ニアツテ、地主
ガ不在ノ爲無斷ニ建テテ居ル家ガ相當
アリマス、殊ニソレハ盛リ場ニ多イノ
デアツテ、最近鬧市場ノ取締ノ爲ニ、
其ノ家屋ノ撤去モ警察カラ命ジテ居
ル、東京ハ御存知ノ通り蒸籠デヤツテ
居リマスレドモ、大阪方面ニハ立
派ナ建築ガ建ツテ居ル、勿論ハ地主
ノ承諾シタモノモアリ、或ハ不承諾ノ
モノモアリマス、殊ニ營利目的トシ
タ、非常ニ惡質ナ、故意ニ無斷ニ建
テタモノモアル、併シ長ラク其處ニ住
デ居ツテ、地主ガ居ラナイ爲ニ善意デ
其處ニ立派ナ住居ヲ構ヘテ一家住ンデ
居ル、是ガ撤去ヲ命ゼラレテ、鬧市場
ノ取締ト關聯シテ住居ヲ脅カサレル、
勿論ハ法律カラ見マスナラバ違法カ
モ知レマセヌガ、法律上ノ手續ナクシ
テ、警察ガ權力ヲ以テソレヲ明渡サ
ス、或ハ取壊シヲ命ズルトカ、應ジナ
イ場合ニハ何等カノ手段ニ出ルト思ヒ
マスガ、サウ云フ非常ニ緊迫シタ實情
ニアルノガ大阪ノ現狀デアリマス、之
ニ對シテ一體ドウ云フ風ナ考ヘナリ、
處置ヲ執ラレカ、是ハ常識デ考ヘレ
バ、判決ヲ持ツズニサウ云フコトハ出
來ナイト思ヒマスケレドモ、今日ノ官

憲ガ鬧市場ヲ取締ルコトト、家ト同一
ニ考ヘテ處置サレタノデハ、ソレハ非
常ナ迷惑デス、又折角其處ニ莫大ナ費
用ヲ掛ケテ建築サレタ借家人ガ迫出サ
レルコトニナリマスカラ、現狀ノ儘デ
貸借ガ出來ル、今日マデノ既存ノ建
物ハ之ヲ認メラレルト云フコトニナル
カナラヌカト云フコトモ、併セテ伺ヒ
タイト思ヒマス

○古島政府委員 洵ニ是ハ社會情勢カ
ラ申シマシテ忽セニナラヌ問題デアリ
マス、此ノ委員會ガ僅カニ十八名ノ委
員會デアリマシテモ、大矢サンノヤウ
ナ御考ヘヲ持ツテ居ル方モアリマス、
サレバト云ツテ、サウ云フ無權限ニ建
テタモノハ甚ダ怪シカラヌト云フ御意
見ノ方モアリマス、僅カノ方デアリマ
シテモ、ドウシテ之ヲ救済スベキカト
云フ立場ト、一方ハソレニ依ツテ難儀
ヲ受ケテ居ル者ヲ如何ニシテ救済スベ
キカト云フ立場トアリマスガ、斯ウナ
リマスルト何レニモ見エルトデアリマ
ス、即チ何等ノ權利ナクシテ建テテ居
ル者ガアリ、地主ナリ、其ノ借地人ノ
方カラ見マスルナラバ、是ハドウシテ
モ、強制力ヲ以テシテモ即時ニ撤廢シ
テ貰ハネバナラヌト云フ立場ニナリマ
ス、一方デハ折角無イ資材ヲ集メテ、
其處ニ左様ナ假設建築物ヲ構ヘタト云
フコトニナレバ、一日モ長ク之ヲ使用
シタイト云フノガ人情デアリマス、併
シ其ノ兩方ノ利益ヲ考ヘテ見マシタ時
ニ、實際ノ權利ナクシテ建テタト云
フモノハ、胸ツクデ之ヲ毀スト云フコ
トハ、ドウシテモ出來マセヌ、結局
ハ、洵ニ面倒イコトデアリマスガ、
酒井サンノ御心配ナサツタヤウニ、ヤ
ハリ裁判所ノ手續ヲ經ルナリ、或ハ調
停ノ手續ヲ經ルナリシテ、面倒デモ左

線ニシテ取拂フヨリ外出来ヌト思フ、併シナガラ、今ノ警察署ニ於テ之ヲ取拂フト云フコトハ、行政處分トシテ取拂フト云フノデアリマシテ、地主ノ立場、借地人ノ立場等カラ之ヲ取ルト云フコトハ出来ヌマイガ、行政處分デ行クト云フナラバ、是ハ法律ノ範圍内ニ於テオ互ヒガ權利ヲ有スルノデアリマスカラ、其ノ行政處分等ニヤラレルコトハ又別個ノ問題ダト思ヒマス、其ノ時ニ如何ニシテ對抗スルカト云フコトハ、又別個ニ考ヘネバナラヌ問題デアリマシテ、本法ノ狙ヒデハナキノデアリマス、併シナガラソレノ争ヒノ起ツタ時ニ、ソレモヤハリ本法案デハ、同様ノ意味ニ於テ調停ノ對象ニモナレバ、又裁判ヲシテ貰フ對象ニモ相成ルコトト存ジマス

○大矢委員 是デ私ノ質問ハ打切りマス

○本田委員 是レデハ午後一時半カラ續行スルコトニ致シマシテ、休憩致シマス

モアルノデアリマスガ故ニ、土地ノ所有面積ニ一定ノ限度ヲ付シテハ如何ト存ズルモノデアリマスガ、之ニ對スル御所見ヲ伺ヒタイ、斯ウ云フ質問ヲ發シテ置イタルデアリマシテ、是ハ東京ノヤウナ大都市ニ於テ、大キナ土地、大キナ建物ヲ所有シテ居ルモノヲ適當ニ小サク切ツテ、サウシテ土地ノナイ、敷地ノナイ者ニ與ヘ、又建物モ同時ニ分割スル、分割スルト申シマスノハ、一ツノ家ヘ何家族カラ差當リ入レルト云フヤウナコトデ緩和シタラドウカ、斯ウ云フ意見デアリマス、之ニ對シテ一應承リタイノデアリマス

○大村國務大臣 只今御尋ネノ、土地ノ所有面積ノ限度ヲ決メルト云フ問題ニ付キマシテハ、一般ノニマダ政府ノシテ方針ヲ決メタモノガナイノデアリマス、唯御承知ノヤウニ、農地ニ付キマシテハ、關係筋トモ政府ガ打合せマシテ、近ク農地調整法デアリマスカ、其ノ改正案ヲ提出致シマシテ、農地ニ付テハ、只今御述ベノヤウナ趣旨ニ依ツテハ、所有ノ限界ガ決マルコトニナリマシテ、其ノ案ノ御審議ヲ仰グヤウニナル等デアリマス、其ノ他ノ一般土地ニ付キマシテハ、マダソコマデ政府トシテ手が及ビ居リマセヌ、今後大イニ研究シナケレバナラス問題ダト存ジマス、次ニ建物ノ問題デアリマス

ガ、是ハ戰災復興院ニ於キマシテ、罹災者等ノ住居問題ヲ解決スル上ニ方途ヲ講ジテ居ルノデアリマス、併シ是トテモ一定ノ廣サ以上ヲ持ツテ居リマスル建物ニ付キマシテハ、所有者カラ申告ヲサセマシテ、ソレニ他ノ住宅ニ困ツテ居ル者ヲ同居サセルト云フ、居住權ノ問題ダケデアリマシテ、所有限度ト云フ所マデハ及ンデ居リマセヌ、詳細ハ私承知致シテ居リマセヌガ、其ノ措置ハ東京ニ於キマシテモ既ニ實行中デアリマス

○石原委員 此ノ問題ハ希望ト致シマシテ、大都市ノ住宅緩和ノ上カラ、唯都市ノ美觀ト云フヤウナ點ヲ損ジナイ範圍デ、出来得ル限り小切リニ切ツテ困ツテ居ル人達ニ安住ノ地ヲ與ヘルヤウニシテ戴クコトヲ、特ニ希望申上ゲテ置キマス

次ニ私ノ主トシテ御尋ネシタイノハ、伊勢宇治山田ニ於キマスル、神宮聖地計畫ノ關係ガ今後ドウナルノデアリカ、借地借家ノ此ノ法案ノ出ルニ當リテ承ツテ置キタイト思フノデアリマス、御承知ノ如ク、宇治山田市ハ戰爭中ニモ聖地トシテ大計畫ガ實行ニ移サレテ、建設事務所等ヲ置イテ著々戰爭中ニ拘ラズヤツテ居ツタノデアリマステ、然ル所終戦後忽チ取止メニナツテ、今後ドウ云フコトニナルカ、地元民モ全然見當ガ付カナイノデアリマス、而モ鐵道ノ驛ヲ變更スルトカ、神宮ノ宮域ニ接近シタ住宅ヲ取拂フトカ、道路ヲ二十四間乃至二十間等ノ廣イ道路ニスルトカ、市區改正、神宮驛トノ交通路、其ノ他神宮宮域ノ擴張ト云フモノガ、可ナリ巨大ナ豫算デアリサレテ、既ニ終戦前後ニ神宮ノ宮域ノ側近ノ住宅ハ取拂ハレテ、土地ハ空襲デヤラレタノヤ、其ノ區別ガ分ラナイヤウナ狀態ノ下ニ置カレテ居ルノデアリマス、是等ノモノハドウ云フコトニ處理サレルノデアラウカト云フコトガ、市ヲ通ジテ縣民一般ノ疑問ニナツテ居ルノデアリマスガ、之ニ對スル大體ノ御方針ト云フモノヲ、先ヅ承リタイノデアリマス

○大村國務大臣 宇治山田ノ所謂聖地計畫ニ付キマシテハ、終戦前ニ於キマシテ國庫カラ特別ノ援助ニ依リマシテ、色々計畫ガ立テラレ、是ガ實施ヲ見ツ、アツタノデアリマスガ、終戦ト相成リマシテ、御承知ノヤウナ國家神道ニ對スル聯合國ノ指令ニ依リマシテ、神社ニ對シテ國家カラ特別ノ保護ヲスルコトハ取止メルト云フ、已ムヲ得ザルコトニ相成ツタノデアリマス、之ニ伴ヒマシテ、神宮所在ノ理由ヲ以チマシテ、國庫ガ特別ノ補助ヲ與ヘテ、都市計畫等ノ聖地計畫ヲ遂行スルコトハ出来ナイコトニ相成リマシテ、事業ノ中断ニ依ツテ宇治山田ノ地元市及ビ市民ニ、非常ナ迷惑ト失望トヲ與ヘタコトハ甚ダ遺憾デアリマスガ、事情已ムヲ得ナイコトト存ズルノデアリマステ、併シ宇治山田市ハ我が國ノ國柄カラ致シマシテ、今後ト雖モ國民文化ノ中心地トシテ立ツテ行クコトハ疑ヒノナイコトデアリマシテ、此ノ見地ヨリ其ノ更生ヲ圖ツテ行キタイモノト考ヘテ居ルノデアリマス、サウシテ此ノ都市ハ自然ノ風光ニモ恵マレ、所謂觀光都市トシテモ相當ノ條件ヲ具ヘテ居ルノデアリマスカラ、今後一般ノ都市計畫ノ範圍内ニ於キマシテ、文化都市ト申シマスカ、或ハ美觀都市ト申シマスカ、サウ云フ點ニ重點ヲ置イテ、今マ終戦後ノ事態ニ即應スルヤウニ、計畫ヲ變更セバ改訂シテ、サウシテ文化都市、美觀都市乃至ハ觀光都市トシテノ面目ヲ發揮サセルヤウニ致シタイト思フノデアリマス、尙ホ其ノ都市計畫ヲ遂行ニ付キマシテハ、地元ノ市及ビ市民トモ能ク御相談ヲシ、適切ナルモノヲ得テ、之ヲ實行サセルヤウニ致シタイ、又ソレニ付キマシテハ、一般都

市計畫ノ線ニ沿ヒマシテ、政府トシテモ十分力ヲ盡シタイト云フヤウニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○石原委員 内務大臣ノ意ノ在ル所ヲ拜聴致シマシテ、聊カ安堵スルモノデアリマスルガ、宇治山田市ハ、終戦前後ニ於キマシテ、既ニ近イ將來ノ市區改正聖地計畫ノ實行ヲ確信シマシテ、サウシテ此ノ機會ニ道幅ヲ廣クスルトカ、宮域ヲ擴張セルトカ、其ノ他ノ施設ヲ要スル所ノ住宅、人家ハ疎開ヲスル方ガ宜シイ、サウ云フヤウナ意モ含マレマシテ、過大ナル疎開ヲヤツタノデアリマシテ、其ノ上ニ、空襲ノ爲ニ宇治山田ノ約六割以上ハ灰燼ニ歸シテ居ツタノデアリマシテ、現在デモ聖地計畫ト罹災者ノ住宅トノ關係ガドウナルカ、道路トシテ擴張サルベキ部門ガドウナルカ、サウ云フヤウナ點ヲ取纏メマシテ、本格的ナ計畫ガ樹タナイノデアリマス、隨テ市民ハ非常ニ意氣鎖沈ヲ致シ、今後ノ方向ニ迷ツテ居ル實情デアリマス、而モ此ノ神社ニ對スル國ノ機構ガ變リ、サウ云フヤウナ點カラ、サチキダニ宇治山田市民ハ、三重縣民一般ハ皇祖祖宗ノ在シマス神宮ニ對スル將來ヲ非常ニ危惧シテ居ル次第デアリマス、ドウカ聖地計畫ノ跡始末ト祝メ合シマシテ、日本ノ聖地トシテノ尊嚴ヲ維持シ、將來國民ノ崇拜ノ的トナルベキ此ノ國民ノ觀念トシテハ、敗戦ノ如何ニ拘ラズ變ナリナイノデアツテ、又變ツテハイケナイノデアツテ、政府ニ於テモ變ルベキヤウナ何程カノ影響モ與ヘタイケナイト思フノデアリハ、特別ナル御考慮、御研究ヲ仰イデ、急速ニ是ガ復興ヲ圖ルヤウニ、特ニ御願ヒテ致シタイノデアリマス、殊ニ宇

治山田ニハ所謂皇室ニ對シ、又皇祖皇宗ニ對シテ最モ思想的ナ本源ヲナスベキ教育ヲ與ヘルト云フ建前カラ、神宮皇學館ナルモノガ建設サレマシテ、國民全體ハ非常ニ其ノ點ヲ歡喜シテ、日本ノ思想ノ源泉トナルベキモノデアリト云フ考ヘ方デ、大ナル期待ト信頼ヲ持ツテ居タルデアリマスルガ、終戰同時ニ神宮皇學館ガ廢校ニナリマシテ、其ノ爲ニ、是ハ獨リ所在地ノ宇治山田市ノミナラズ、國民全體ガ大イニ考ヘナケレバナラヌコトデアリト私共ハ思フデアリマス、假令海陸軍ノ御意向ガドウデアラウト、日本ノ國民ガ皇祖皇宗ヲ敬シ、又皇國精神ト云フモノノ今後ノ強調ヲ圖ルコト云フコトハ、是ハ大切ナコトデアリマシテ、之ニ對スル所ノ根源ヲナスベキ教育機關ガ、私ノ見ル所デハ風靡鶴唳ノヤウナコトデ止マツタヤウナコトデハナナカト思フデアリマス、昔私ノ縣デハ本居宜長先生アリ、加茂眞淵先生、是ハ私ノ縣デハアリマセケヌレドモ、平田篤胤先生、アノ人々ハ皇國精神ノ強調ノ爲ニ、一身ヲ賭シテ國民ヲ指導シタルデアリマスルガ、今日敗戰ノ聲ニ怯ヘテ、皇學館大學ヲ經營シテ居タル館長初メ、皇國精神ヲ戰前ニ大イニ強調シテ居タル學者其ノ他ガ、聲ヲ潜メテ、何等皇國精神ニ對スル指導ノ言説モ行動モ現ハレナイト云フコトハ、洵ニ私共ハ遺憾千萬ナコトデアリト思フデアリマシテ、内務省、文部省ニ於テハ、特ニ御考ヘテ願ヒタイト思フデアリマス、信仰ハ國民ノ自由デアリマシテ、特ニ我々國民ノ大本デアリル所ノ皇室、之ニ關聯ヲ持ツ所ノ皇國精神ノ涵養、其ノ教育ニ當ル所ノ機關、是等ノコトハ戰争ノ勝ツ負ケルニ拘ラナイ問題デアリト、私共

思フデアリマス、仍テ皇學館大學其ノモノガ、其ノ權復活スルコトニ支障ガアルナラバ、ソレニ代ル所ノ何等カナルベキ機關ヲ宇治山田市ニ設置ラシテ貰ヒタイ、斯ウ云フ希望ヲ持ツテ居ルデアリマス、之ニ對スル内務大臣並ニ文部省局ノ御意向ノアル所ヲ一應御聽カセ願ヒタイデアリマス、○大村國務大臣 終戰後ノ今日ノ事態ニ於キマシテハ、神宮ト國家トノ關係ハ斷切ラザルヲ得ナイコトニ相成ツタデアリマス、併シ神宮ヲ國民ガ尊崇シ、崇敬スルコトハ、固ヨリ國民ノ自由デアリマシテ、又殆ド全部ノ國民ノ神宮ニ對スル崇敬心ハ、終戰前ト後トノ間ニ何等ノ相違ハナイ、今日ニ於テハ一層其ノ崇敬ノ度ヲ増シテ居ルモ考ヘラレルデアリマシテ、此ノ神宮ヲ崇奉スルコト云フ國民ノ誠心ニ依リマシテ、今後長ク宇治山田市ハ聖地トシテノ性格ヲ持テ續ケルモノト確信致シテ居ルデアリマス、只今御述べノ如ク、終戰前後ノ事情ノ變轉ニ依リマシテ、宇治山田ノ市民、又市ハ非常ニ迷惑ヲサレテ居ルコトデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ、新事態ニ即應スルヤウニ計畫ヲ再檢討致シマシテ、今日ノ事態ヲ基礎トシテ、今後宇治山田市ノ都市計畫ヲ促進シテ行クヤウニ、市當局及ビ縣當局トモ内務省ハ協力致シタイト考ヘテ居ルデアリマス、尙ホ神宮皇學館大學ガ廢止ニナリマシタノモノ、國費デ大學ヲ維持スルコトガ出来ナイコトニナリマシテ、已ムヲ得ズ之ヲ廢止サレタト聞イテ居リマス、之ヲ或ハ神宮ニ於テ經營スル、乃至ハ神宮ヲ崇敬スル一般國民ノ手ニ依ツテ經營スルコトハ何等差支ヘナイコトデア

リマシテ、私廢止ノ聲ヲ聞キマシタ時分ニ、サウ云フヤウナコトニ相成ラスモノカ、ドコカ篤志家ハ現ハレヌモノカト云フヤウナコトヲ、實ハ心待チニ待ツタ一人デアリマス、事態ガ安定シテ參リ、又國民ノ神宮ニ對スル崇敬心ガ段々甦ツテ旺盛ニナツテ參リマシタナラバ、此ノ學校ヲ復活致シマシテ、或ハ神宮デ御經營ニナル、乃至ハ國民ノ手ニ依ツテ之ヲ再興スルコトモ固ヨリ可能ナコトデアリマシテ、唯從來ノヤウニ、國費デ以テ之ヲ維持經營スルコトデケガ、出来ナクナツタト云フ次第デアリマス、○長野政府委員 文部省ノ側カラモ一寸御答ト致シマス、國民ノ崇敬ノ中樞デアリマス神宮、又民族ノ崇敬ノ中樞デアリマス神宮ノ今日ノ御狀態、並ニ之ヲ全國國民ニ代ツテ御護リニナツテ居ラル、所ノ市民ノ方々ニ思ヒ及ボシマスル時、實ニ感慨無量ノモノガアリマス、只今ノ神宮皇學館大學ノ問題デゴザイマスルガ、是ハ昨年十二月ニ司令部ノ方カラ廢止ヲ命ゼラレテ居ル次第デアリマシテ、政教分離ノ原則ニ基キマシテ、已ムヲ得ナイコトデゴザイマス、併シナガラ他ノ佛教關係ノ大學トノ關係ト同ジ如クニ、之ヲ私立ノ經營トシテ神宮養成ヲスルコト云フコトナラバ、何等差支ヘナイ譯デゴザイマス、茲ニ一道ノ光明ガ我々ニ見エテ居ル次第デゴザイマス、現ニ國學院大學ノ神道部ノ如キハ其ノ一例デアリマス、文部省ト致シマシテモ、ソレ等ノ點ニ勘案ヲ致シマシテ宇治山田ノ市民ノ方々、並ニ國內ノ有志ノ方々トモ將來關聯ヲ執ツテ、然ルベキ方途ニ出ル機會モアルデハナナカト考ヘテ居ル次第デアリマス、是等ニ付キマシテハ、

更ニ慎重研究ヲ致シマシテ、御期待ニ副フヤウニ致シタト存ジテ居リマス、○石原(團)委員 先ヅ内務大臣ニ御希望ヲ思上ゲマス、私ハ只今ノ御説明ニ依リマシテ、大體ノ御方針ハ了解ラシマシタガ、是ガ實現ノ速カナラシコトヲ切ニ希望致シマス、茲ニ一ツ特ニ御願ヒシタイコトハ、内閣ガ更迭ヲスル度ニ、前大臣ハ悉ク御禮參拜ニ伊勢神宮ニ參ラレタデアリマス、又新任サレタ大臣ハ、悉ク新任ノ御奉告ニ參拜サレタデアリマス、此ノコトヲ復活シテ戴キタイ、是ハ進駐軍ヤ其ノ他ニ遠慮ノ要ラスコトデアリマシテ、所謂皇祖ニ對スル信仰デアリマス、此ノ大臣ガ伊勢大廟ニ敬意ヲ表スルコト云フコトハ、國民全體ノ方向ヲ強調スルト私ハ思フデアリマス、而モ政府ノ實現シタ明治以來ノ此ノ顯著ナル實例ヲ、敗戰ニ依ツテナクスルコト云フコトハ、國民ニ對シテモ相濟マヌコトデアリ、又國家ノ將來ニ對シテモ非常ナル影響ヲ持ツモノト思ヒマス、殊ニ關係ノ深い内務大臣、文部大臣等ガ、先ヅ伊勢神宮ニ御奉告ノ參拜ヲサレト云フ先例ヲ復活シテ戴キタイト云フコトヲ、強イ意味ニ於テ御希望ヲ申上ゲテ置キマス、

次ニ皇學館大學デアリマスルガ、是ハ進駐軍ノ命令ナラバ已ムヲ得ナイト思フデアリマス、國民ノ手ニ於テスルカ、或ハ國ノ手ニ於テスルカ、兩者ノ協力ニ於テスルカ、現ニ角アソコギハ一ツノ文化的ナ、皇學館大學ニ代ル所ノ施設ヲ、是非トモ實現スルヤウニ御配慮ガ願ヒタイ、近時私共ノ憂ヘル點ハ、國民ノ思想的、素行的動向デアリマス、殊ニ若イ婦人ノ動向ニ對シテハ甚ダ憂フベキモノガアルデアリマス、仍テ伊勢神宮ハ所謂天照大神様ニ因ミマシテモ、アソコニ女子教育ノ最高機關ヲ、官民何レカノ手ニ依ルカ、官民トモ協力ニ依ルカ、急速ニ實現スルヤウニ御配慮ノ程ヲ、切ニ御願ヒタル次第デアリマス、此ノコトニ依ツテ私ハ日本ノ今ノ現實、悲シムベキ狀況ニアル所ノ婦人ノ素行其ノ他ニ對シテ、大イニ指針ヲ與ヘ得ルモノト信ズルデアリマシテ、國家將來ノ爲ニ特ニ此ノコトヲ御希望申上ゲル次第デアリマス、

次ニ神宮御造營ノコトデアリマス、是ハ來ル二十四年ガ式年ノ年デアリマシテ、政府ニ於テハ其ノ施設ヲ繼續シテヤツテ居ラレマシタガ、本年デ其ノ經費ヲ打切ラレテ、御取止メニナルト云フ御方針ノヤウデアリマス、是モ皇學館大學ノ廢止ト略々同ジ理由ニ依ルモノカト察セラレマスガ、御承知ノヤウニ、三千年來大廟ノ二十一年目毎ノ御造營ト云フモノハ、國民崇拜ノ的トナツテ、サウシテアノ行事ガ日本ノ國民ヲドレダケ緊張セシメ、信仰ヲ高メタカト云フコトハ、申スマデモナイデアリマシテ、ソレヲ今回政府並ニ皇室等ノ御方針ニ依リマシテ、國ノ事業トシテハヤラナイト云フコトノ已ムヲ得ナイ狀態ト致シマシテモ、ソレニ代ル方法ヲ御指示デアルトカ、御指導デアルトカ、私共ノ希望ト致シマシテハ、是非トモ二十一年目毎ノ此ノ式年ハ實現スルヤウニ、御配慮ヲ仰ギタイト思フデアリマス、私ガ説明スルマデモナク、神宮ノ建物ハ全部白木デアリマス、木曾ノ山ヨリ伐リ下ゲテ來タリ所ノ檜、杉ニ依ル所ノ白木造リデアリマシテ、永ク保存ハ出来ナイデアリマス、萬一雨漏リガアツタリ、其ノ他

神宮ノ尊嚴ヲ汚スヤウナコトガアツテハ、是ハ國民ニ對スル大變ナ問題デア
ルト思フノデアリマシテ、之ニ對スル
所ノ御意見ナリ、御方針ナリヲ承
テ、已ムヲ得ナイモノナラバ、私共ガ
民間ニ於テ是ガ實現ヲ圖ルト云フコト
ニ努力ヲ致シタイノデアリマシテ、又
其ノ實現ニハ、政府ヨリ出來ナイ場合
ニハ、關係ト云フ個人ノ御助力、御
援助ニ依リマシテ、是非トモ實現ヲ期
シタイト思フノデアリマス、之ニ對シ
テモ御意見ノアル所ヲ承ツテ置キタイ
ノデアリマス

○長野府委員 御答ヘ致シマス、初
メノ御希望ノ點デゴザイマスガ、大臣
ガ任官ト同時ニ、從來ノ如ク神宮參詣
ヲナスベキデハナイカト云フコトデア
リマスガ、御承知ノ通り、司令部ノ方
カラノ特別ナル命令ニ依リマシテ、官
公吏ハ公ノ資格デ新任ノ奉告其ノ他參
拜ヲナスコトハ出來ナイコトニナツテ
居ルノデゴザイマス、此ノ點ハドウカ
御諒察ヲ願ヒタイト思ヒマス

尙ホ最初申上ゲマシタヤウニ、神宮
皇學館大學ノ如キモノヲ、官ノ施設ト
シテ行フコトハ出來ナイノデゴザイマ
スカラ、之ニ付キマシテハ、ヤハリ私
立トシテ今後相當ノ考慮ヲ拂フベキモ
ノト思ヒマス

ソレカラ神宮御造營ノ點ニ付キマシ
テハ、御承知ノヤウニ、神社ハ宗教法
人トシテ發足ヲ致シマシテ、而シテ今
日公ノ援助ナリ又ハ公ノ要素ノ導入
ハ嚴ニ避ケナケレバナラナイコトト存
ジマス、又新憲法案ニモ、明カニ政
教分離ノ方針ヲ示シテ居ルノデアリマ
ス、隨テ神宮ニ於キマシテモ、一般ノ
宗教團體ト同様ニ立場ニ於テ施設經營
ヲ致ス外ハナイト存ズルノデアリマ

ス、即チ今後國家ヨリノ支援ガ出來ナ
クナツタノデアリマスカラ、神宮御自
身デ造營スルヨリ他ハナイト存ジマ
ス、先程內務大臣カラモ御答辯ノアリ
マシタヤウナ意味ニ於キマシテ、今後
適切ナル方圖ニ依リテ、國民ノ至誠ヲ
發露スベキモノデハナイカ、斯様ニ考
ヘテ居ル次第デアリマス

○石原(團)委員 聖地計畫ニ關スルコ
ト、皇學館大學ニ關スルコト、竝ニ御
造營ニ關スルコトニ付キマシテ、内
務大臣竝ニ文部政務次官ノ御意見ノア
ル所ハ有難ク拜聴シマシタ、能ク了解
ヲ致シマシタ、私ノ述べマシタコトニ
付キマシテハ、意ハ足ラナイカモ分リ
マセヌケレドモ、要スルニ進駐軍ニ反
撥ノ心持デ是ガ實現ヲシタイト云フ
氣分ハ至末モナイノデアリマス、其ノ
進駐軍ノ諒解ノ下ニ、諒解スル範圍ニ
於テ、民主的ナル最モ時代ニ適切ニ
於テ、今後ノ日本ノ國ノ將來ノ國民ノ爲
ニ最モ必要ナリトシテ施設ヲヤツテ戴
キタイ、ソレニ對シテハ、現在ノ場合
デハ國民ノ手ニ於テヤラナケレバナラ
ヌコトガ多分デアリマシテ、此ノ事ハ
非常ナル努力ヲ要スルコトデアリ、又
多額ノ費用ガ伴フコトデアリマシテ、
政府等ニ依ツテヤル場合ハ是ハ心配ハ
ナイノデアリマス、民間デモ、民間
ヤル場合ニハ、金ヲ集ムルコトハ容易
デアリマシテモ、其ノ仕事ヲ首腦ヨリ
ナツテヤル人ノ人格デアルトカ、經歷
デアルトカ云フコトニ大ナル影響ヲ持
マシテ、ソレデ出來得ルコトモ出來ナ
イト云フヤウナコトガ杞憂サレルノデ
アリマシテ、サウ云フコトノ爲ニ是ガ
遅レコトハ、非常ナル國家ノ不利益
デアルト考ヘマス、ドウカ個人
的ニ此ノ問題ニ對シテ十分ノ御考慮ヲ

仰イデ、サウシテ此ノ伊勢大廟、所謂
聖地ノ總テノ計畫ニ付テハ、特別ナル
御考慮ヲ仰ギタイノデアリマス、此ノ
希望ヲ申上ゲテ、此ノ問題ニ對スル私
ノ質問ヲ終リタイト思ヒマス、何卒特
別ナル御高配ヲ御願ヒ致シマス

○長野府委員 赤誠ノ溢レタ御意見
ヲ拜聴シマシテ、洵ニ御同感ニ堪ヘナ
イ所デアリマス、就キマシテハ、モウ
一ツ此處ニ附加ヘテ申上ゲテ置キタイ
ト思ヒマス、神宮ノ崇敬者デア
ル所ノ國民ガ、自發的ニ淨財ヲ出スコ
トハ差支ヘナイノデアリマシテ、茲ニ
委員ノ特ニ御力説ニナリマシタ民主的
のナ出方ト云フコトヲ考ヘマス、奉贊
會ト云ツタ、御主張ノ如キ各種ノ條件
ヲ備ヘタ團體ヲ作りマシテ、此ノ團體
ガ中樞トナツテ、資金ヲ集メマシテ、
ソシテ此ノ團體デ造營スルコトハ許サ
レテ居ル次第デゴザイマス、ドウカ是
等モ御參考ノ上デ、御趣旨ノヤウナ純
正ナ、烈々タル氣持ガ此ノ方面ニ現ハ
レテ來ルコトヲ期待スルモノデアリ
マス

○石原(團)委員 洵ニ御同情溢ル、御
説ヲ伺ヒマシテ、感激ニ堪ヘナイノデ
アリマス、實ハ奉贊會トハ申シマセヌ
ケレドモ、一ツノ期成同盟會のモノ
デアリタイト云フ説ハアルノデアリマ
スケレドモ、日本ノ國ノ國民性トシ
テ、例ヘバ奉贊會ノ總裁デアルトカ、
會長デアルトカ云フ人ハ、或ハ宮樣デア
ルトカ、又政治的ニモ其ノ他ニモ國民
ノ崇拜ノ的ナルベキ人格ヲ備ヘテ居
ラレ方々ニ、其ノ中心トナツテ戴ク
必要ガアルノデアリマスガ、現在ノ狀
態ニ於キマシテ、サウ云フ適當ナハ
澤山アリマシテモ、先ヅ御承諾ガ仰ギ
ニクイト云フヤウナ事情ニ察シラレ

點ガアリマス、サウ云フ首腦部ノ
人的機構ニ非常ニ個ミヲ生ジテ居ル次
第デアリマス、ドウカ斯ウ云フコトニ
付キマシテモ、他ノ機會ニ於テ十分ノ
御指導ナリ御協賛ヲ御願ヒシタイト思
ヒマス、私ハ他ニ少シ質問シタイコト
ガアリマス、ソレハ保留ヲサ
シテ戴イテ、是デ一應打切りマス

○本田委員 鹿島君
申スマデモナク學校ハ其ノ所在ノ土地
トノ關係、詰リ學校ノ校風ト申シマス
カ、大切ナ條件ト云フモノガ、土地ト
非常ニ結バレテ居ル場合モアルノデア
リマス、隨ヒマシテ、必ズ之ヲ地方ニ
分散スルコト云フヤウナ原則のナコトハ
申シ難ネマス、ケレドモ、出來ル限リ地
方ニ分散スベキモノデアルト云フコト
ハ、茲ニ御答ヘラシテ差支ヘナイト思
ヒマス、稍々明瞭ヲ缺イテ居ルヤウニ
御聽取リカモ知レマセヌケレドモ、既
設ノ學校ニ付キマシテハ、是レ以上具
體のニ當ル以前ニ御答ヘノ方法モナイ
ヤウニ思ヒマス、ソレカラ今後出來マ
ス學校ニ付キマシテハ、殆ド原則的ニ
地方ニ分散スベキモノデアルト、斯様
ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○鹿島委員 鹿島君
私ハ主トシテ市街地建築
物法ト本法案ノ關係ニ付テ聽キタイト
思ツタノデアリマスガ、今日ハオ見エ
ニナツテ居リマセヌカラ、後デ伺フコ
トニ致シマス、新シク所謂國土計畫的
のナ立場カラ、生産ノ再編成、或ハ文化
ノ地方分散ト云フヤウナコトハ極メテ
必要デアリマシテ、サウ云ツタヤウナ
コトモ先達デ政府當局カラ御伺ヒシタ
ノデアリマスガ、特ニ大都市デ戰災ニ
罹リマシタ大學、專門學校、サウ云ツ
タモノヲ地方ノ中小都市、サウ云ツタ
方面ニ此ノ際移スト云フコトガ、極メ
テ時宜ヲ得タ問題デヤナイカ、ソナ
風ニ考ヘテ居ル譯デアリマスガ、先日
モ御當局ノ方カラ、非公式ニサウ云ツ
タコトモ伺ツタ譯デアリマス、ケレド
モ、文部省ノ方デ是等ニ付テ何カ具體
的のナ方策ヲ講ゼラレツ、アルカドウ
カ、段々東京方面ノ復興計畫等ノ新聞
等デ見マシテモ、ヤハリ前ト同ジヤウ
ニ、學校ヲ殘シテヤツテ行カウト云フ
ヤウナコトモ現ハレテ居リカウト云フ
此ノ際デアリマスカラ、寧ロ將來ノコ
トモ色々考ヘ合セマシテ、地方ノ事情
ト合フヤウナ、又都會ニ必ズシモ置カ
ヌデ宜イコト云ツタヤウナ文化施設ハ、
此ノ際一ツ地方ニ移シテ戴クト云ツタ
ヤウナコトガ望ミシイト思ヒマス、ケ
レドモ、之ニ付テ文部御當局ノ御所見ヲ

御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○長野府委員 學校其ノ他文化機關
ノ地方分散ト云フコトニ付キマシテ
ハ、從來ト趣キヲ異ニシマシテ、成ベ
ク地方ニ其ノ分散ヲ實現スルコトヲ建
前ニ付キマシテハ、新シイ教育行政ノ
立場カラ、重キヲ置イテ考ヘナクテハ
ナラヌコトト存ジマス、併シナガラ、
申スマデモナク學校ハ其ノ所在ノ土地
トノ關係、詰リ學校ノ校風ト申シマス
カ、大切ナ條件ト云フモノガ、土地ト
非常ニ結バレテ居ル場合モアルノデア
リマス、隨ヒマシテ、必ズ之ヲ地方ニ
分散スルコト云フヤウナ原則のナコトハ
申シ難ネマス、ケレドモ、出來ル限リ地
方ニ分散スベキモノデアルト云フコト
ハ、茲ニ御答ヘラシテ差支ヘナイト思
ヒマス、稍々明瞭ヲ缺イテ居ルヤウニ
御聽取リカモ知レマセヌケレドモ、既
設ノ學校ニ付キマシテハ、是レ以上具
體のニ當ル以前ニ御答ヘノ方法モナイ
ヤウニ思ヒマス、ソレカラ今後出來マ
ス學校ニ付キマシテハ、殆ド原則的ニ
地方ニ分散スベキモノデアルト、斯様
ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○鹿島委員 大體承シマシタガ、唯
併シ、現在大都市ニ在ル學校ヲ、其ノ
儘ソツクリ地方ニ持ツテ行クト云フコ
トハ中々困難デゴザイマス、ケレドモ、
其ノ分校ヲ作ルト云ツタヤウナコト
ハ、是ハ學校經營カラ申シマシテモ、
又文化ノ地方分散ト云フ點カラ申シマ
シテモ、尙ホ行フ方面カラ申シマシテ
モ、ヤリ易イノデヤナイカ、コンナコ
トモ考ヘテ居リマシテ、ソレ等ニ付テ
モ一ツ大學、專門學校等ニ幾ラカコ
ラヲ縮小セシメマシテ、サウシテ地方
ニ其ノ分校ヲ作ツテ、ソチカラ充實シ
テ行クト云ツタヤウナコトモ御考ヘノ

第三五

上、御勸奨ヲ御願ヒシタイト云フコトヲ希望申上テ置キマス

次ニ國土局長ニ御伺ヒシタイト思ヒマスガ、現在大都市ノ罹災者ガ地方ノ中小都市、或ハ農村方面ニ疎開シテ居リマシテ、只今ノ所デハ轉入制限ニ依ツテ入ツテ來ルコトガ出來ヌ狀況アリマス、轉入制限モ何時カ解除セルノデアリマスガ、遲クモ此ノ法案實施一年以内ニハ解決セラルカ、或ハ緩和サレモト云フ風ニ考ヘテ居リマスガ、併シ又出來マシテモ、一齊ニ其ノ疎開ツテ來マシタノデハ、從前見タヤウニ過大人口ニナツテ來ルノデアリマスカラ、是ハ出來レバ、ヤハリ地方ニ是等ノ者ヲ落着カセルコトガ大事デハナイカト考ヘテ居リマス、ソレニ付テハ、ヤハリ地方ノ罹災ヲ受ケタ都市、其處ニ家ヲ造ラウト思ヒマシテモ中々困難ガ伴ヒマスノデ、非災災都市、即チ生産都市、或ハ農村方面ニソレ等ノ者ヲ落着カセル爲ニ、何等カノ方法ヲ講ズル必要アリハシナイカ、サウ致シマス、地方ノ實情カラ申上ゲマス、又他ニ臨時建築制限令ト云フノガアリマシテ、木造建物ノ住宅、店舗等ノ制限ガゴザイマス、是デハ大都市ノ中ニ造ル場合ニハ、現在十五坪マデハ何トカヤツテ行ケルノデアリマスケレドモ、地方ノ實際ノ際ヲ聽キマス、十五坪位デハ仕方ガナイ、造ルナラバモウ少し立派ナ、シッカリシタモノヲ造ツテ、ソコニ落着キタイト云フ希望ガアルノデアリマス、私ハ非災災都市、農村ノコトヲ申上ゲマシテモ、決シテ是ハ罹災都市ノコトヲ輕ンズル譯デハナイノデアリマシテ、本當ニ災災都市ノ復興ヲ順調ニヤツテ行ク爲ニハ、ドウシテモ戰災ニ罹ラナカッタ方面モ、此

ノ際手ヲ入レルト云フコトガ極メテ必要デアルト考ヘテ居ルノデアリマス、此ノ前ノ特別都市計畫法ニシテモ、今回ノ此ノ法案ニシマシテモ、戰災地、ソレノミヲ扱ツテ居リマシテ、地方ノ生産都市ナリ、農村ノコトハ餘リ考ヘテ居ナイ、是ハドウシテモ、ヤハリ戰災地ヲ復興スル爲ニ片手落デハナイカ、斯ウフ氣持ガ致スノデアリマスガ、ソレ等ニ付テ國土局長ノ御考ヘヲ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○長野府政務委員 一寸御希望ノ點デ、地方ニ分教場ヲ作ツテハドウカ、斯ウ云フ御感想デシタカ、御質問デシタカハツキリ分リマセスケレドモ、是非常ニ重要ナ點ト思ヒマスカラ、一寸御答ヘヲ申上ゲテ置キマス、人口ノ地方分布ノ點カラ考ヘマス、地域のカラ云ヘバ北海道デアルトカ、九州デアルトカ、或ハ又各府縣デ申シマス山地带、斯ウ云フ所ハ尙ホ人口稀薄デアリマシテ、出來得ル限リ斯ウ云ツタ方面ニ人口ヲ植付ケルト云フコトハ、非常ニ必要ダト思ヒマス、隨テ此ノ方面ノ文化的開發ト云フコトハ、相當考慮サレナケレバナラヌト思ヒマス、一面大學等ノ立場カラ申シマス、ヤハリ地方的ニ關聯ヲ持チマシテ、演習林ト申シマス、農場ト申シマス、其ノ他各般ノ意味ニ於テ、地方ニ教場ヲ設ケテ、教育ノ普及ヲ圖ルコト云フコトモ必要ト思ヒマス、殊ニ最近生活難ノ爲ニ、學生ガ都會ヘ出テ來ルコトガ困難デアリマス、隨テ專門學校、大學等ヲ成ルベク地方ニ均霑スル方法ヲ執リマシテ、遠ク遊學スル必要ノナイコトニスルコトモ、目今緊急ノ要務デハナイカト思ヒマス、是等ノ點等ヲ勘案致シマシテ、分教場ヲ地方ニ造ルト云

フコトハ、相當考慮サレナケレバナラヌト存ジテ居リマス、何レ何等カノ機會ニ於テ具現サル、コトト思ツテ居リマス、何卒是等ノ點ニ付テモ、各位ノ御援助ヲ願ハナケレバナラヌト思ツテ居リマス

○岩澤府政務委員 御答ヘ致シマス、戰災地ニ於ケル都市ノ轉入ニ付キマシテハ、御存ジノ通り九月三十日マデ抑制ヲ致シマシテ、今後ソレヲ又食糧事情ニ依リマシテ持續スルカ、或ハソレデハ應打斷シテ持續スルカ、今後ノ情勢ニ依リナケレバハツキリ申上ゲルコトハ出來ナイト思ヒマス、尙ホ此ノ戰災地ノ復興、即チ今後ニ於ケル都市ノ膨脹ヲ如何ニ抑止スルカト云フコトハ、我々衝ニ當ツテ居ル者ハ相當考ヘナケレバナラヌ問題デアルト思ヒマス、唯此ノ抑制ヲ實施キマス、ヤハリ都市集中主義ニ陥リマシテ、昔ナガラノ過大都市ト云フモノガ、當然生ジテ來ル處ガ多分ニアリマスカラ、或ル面ニ於テハ、即チ現在農村方面或ハハ非戰災都市ニ疎開シテ居ル者ヲ定住サスト云フコトヲ、此ノ際國土局長ノ執ラナケレバナラナイト存ジマス、其ノ爲ニヤハリ農村方面トカ、或ハ非戰災地ノ中小都市ノ文化ナリ、或ハ教育方面ノ復興ト云フモノヲ十分考慮ミマシテ、又農村方面ニ付キマシテハ、輕工業ナリ、或ハ簡單ナ其ノ附近ニ於ケル天然資材ヲ利用スルヤウナ工業ヲ興スト云フヤウニスレバ、自ツト農村或ハ中小都市ニ人口ガ全部疎散シテ、ソレシテ此ノ大都市ノ過大人口ガ當然防ゲルノデハナイカト云フコトヲ考ヘテ居リマス、此ノ問題ニ付テハ、唯單ニ一局部ニ之ヲ限定スルコトガ出來マセヌカラ、今私ノ所ト致シマシテ

ハ、國土計畫ノ見地カラ、全國ニ付テ折角調査中デアリマスカラ、何レ具體的ニ決リマシタナラバ、又御報告スル機會ガアルダラウト思ヒマス

○鹿島委員 文化機關ノ地方分散ニ付テ、政務次官カラ懇切ニ御答辯ガゴザイマシタ、ドウカサウ云フ工合ニ今後御指導ヲ御願ヒシタイト、尙ホ非戰災都市ノ對策ニ付テモ、只今御答辯ガアリマシタガ、成ダケ早く何等カノ方法ヲ講ジテ救済サレバナラヌデアリマス、サウデアルカセバナラヌヤハリ結局此ノ轉入制限令ガ解決サレマシタナラバ、恐ラク又前ノヤウニナリマシテ、サウシテ、サウナルト今後大都市ガ近代的名本當ノ文化都市トシテ、或ハ生産都市トシテ圓滿ニ立ツテ行キマセヌカラ、ソレ等ニ付テモ、成ダケ早く御考ヘヲ決メラレテ、實施サレバヤウニ御願ヒシテ置キマス

○本田委員長 金井君

○金井委員 御承知ノ通り戰災都市ニ於テハ、借地權或ハ借家權ノ問題ガ非常ニ多イデアリマスガ、特ニ疎開建物ヲヤラレタ場所ニ於テハ、現ニ私共モ其ノ弱ツテ居ル一人デアリマスガ、強制疎開ヲ喰ヒマシテ、サウシテ我々ハ何レカニ轉居致スノデアリマスガ、其ノ際、當時ノ狀況ハ成ベク澤山疎開サスコトガ必要ニ迫ラレテ居ツタ事情カラ、不必要ナ所ト今日考ヘラレル所ガ疎開サレテ居リマス、其處ハ現在一橫濱市ノヤウナ所デハ大體燒ケ盡シテ居リマスノデ、強制疎開地ニナツタ所ガ今日繁華街ニナツテ居ルノデアリマス、サウシテ其處ニ或ハ劇場ガ建チ、或ハ商店ガ建ツテ居ルノデアリマスガ、最近橫濱市ハ之ニ對シテ立退ヲ命ズルヤウナ狀態ニアルノデアリマス、

或ハ使用ヲ阻止スルト云フヤウナ狀態ニアルノデアリマス、サウシマスルハ、現ニ立派ナ民衆娛樂場ガ出來、或ハ商店街ガ出來テ居ルモノガ、現在如何ニスベキカ迷ツテ居ルノデス、サウシタ問題ニ對シテモ、此ノ法デハ何處ニソレガ當該ルカ、サウ云フコトヲ一應御開カセテ願ヒタイ

ソレカラ第二點ハ、橫濱市ハ新橋ト同ジヤウニ露店商ガ相當數出來タノデアリマス、露店商ハ非常ニ繁榮地ニ出來テ居リマス、隨テ其ノ繁榮地ノ路傍ニ出來テ居ルノデアリマスカラ、實際ハ人間ノ通ル所ヘ一杯ニ立テテ居リマス、サウナルト、其裏ニアルノガ焼ケテシマツタ借地權者ノ持ツテ居ル土地デアリマス、ソコデ家ヲ建テヨウニモ門口ヲ取ル所ガナイノデアリマス、ソレヲ退イテ吳レト言ツタ所デ、御承知ノ通り露店商ハ一面ニハ任便デアリ、一面ニハ中々相當ナ強者デゴザイマスノデ、結局家ガ建テラレスト云フ事情ニアルノガ多イデアリマス、所ガ元々露天商ト云フモノノ許可權ト云フモノハ警察ガ中心デアリマス、デアリマスカラ、警察ガ之ヲ取締ツテ居ル場合ナラバ適當ナ處置ガ出來タノデアリマスガ、現在ハ露天商ヲ許可スルノハ區役所若シタハ市役所デアルコトニナツテ居ルノデアリマス、隨テ警察ニハ今マデ關係ガアツタガ、今日デハ關係ガナイ、サウシテ事情——所謂治安其ノ他ノ內面的ナ事情ヲ知ラザル所、市役所アタリガ勝手ニ許スモノデアリマスカラ、斯ウシテ問題ガ起キテ居ルノデアリマス、斯ウシタ場合ニ於ケル借地權ヲ有効ニ行使スル方法ヲ、一體何處ニ求ムルカ、一應此ノ二點ヲ御伺ヒシタイトデアリマス

○古島政府委員 只今ノ疎開地ニ對スル法的根據ハ、第九條ノ御覽ニナレバ分リマス、第九條ニ依ツテ「疎開建物ガ除却されたる當時におけるその敷地の借地權者、その當時借地權以外の權利に基いてその敷地にその建物を所有してゐた者、及びその當時におけるその建物の借主については前七條の規定を準用する」ト云フコトニ書イテアリマスノデ、大體ハ此ノ九條ニ於テヤリ得ラレルト思ヒマス

○金井委員 サウシマス、市役所カラ假ニ立退キテ命ゼラレテモ居リ得ルノデスカ、只今ノ答辯ハ誤解サレテ居ル、強制疎開ヲ喰ツタ其處ヘ私共ガ行ツテ居ルノデナイ、即チ他ノ人ガ行ツテ其處ニ闖入建テ、其處ニ商店街ガ出來テ居ル譯デス、サウシテ借地權者ハ事實上元ハ我々デアツタ、強制疎開ダカラ市ガ管理シテ居ツタ、管理シテ居ル市ハ、コンナニ早く戰爭ガ濟ムトハ思ハナカツタノデ、貸シテシマツタ、サウシテ、ソレハ何時デモ必要ナ場合ニハ返スト云フ條件ハ付イテ居リマスケレドモ、事實ハ半永久ノモノガ建ツテ居ル譯デス、ソコデソレヲ今立退ケト言ウタ所デ、立退クコトハ容易ナコトデハナイト思フ、サウ云フ場合ニハ、此ノ法令ハ何處ヲ適用スルカ

○古島政府委員 成程建物ヲ強制疎開ニサレタ場所ハ、御承知デモアリマセウガ、其ノ空地ヲ買取ツタ場所モアリ、買取ラズニ寧ろ其ノ借受ケテ居ル所ガアリマス、又借受ケモ出來ズニ曖昧ノ中ニアル部分ガ多少アルカモ知レスト思ヒマス、此ノ買取リマシタ場合、若シハ借受ケシマシタ場合ニハ、其ノ借地權ハ全部法規ノ書類ガ取ツテアル管デアリマス、即チ借地權者ト云

フ者ハナクナツテ居ルノデアリマス、ソコデ今度ハ其ノ借地權ノナイ場所ニ何人カガ自由ニ建物ヲ拵ヘタ、若シハ露店ヲ拵ヘタト云フヤウナ時ニハ、是ハ只今讀ミマシタ但シノ方ニ入リマス

○金井委員 許可ハ得テ居ルノデス、○古島政府委員 許可ヲ得テ居レバ、ソレハ一時使用ノ許可ヲサレタノデアリマセウ、許可ヲ取消サレタナクンバ明渡シハサレス管デス、取消モセズニ、使用ヲ許シテ居ツテ明渡シト云フコトヲ致ス管ハナイ、但シソコニ紛争ガアル場合ハ、公共團體等ノ土地、若シハ公共團體ガ借用シテ居ル土地ト居ル土地ト云フ時ニハ、此ノ後段ノ規定ガ適用サレマスカラ、此ノ法律ノ面カラ見マス、一向爭ハ起ラヌコトト在ズルノデアリマス

○金井委員 今御覽キシタノデハ私ハマダ腑ニ落チナイノデスカ、市ソレ自體ハ前所有主ニソレヲ賣渡シテ居ヨウトシテ居ルノデス、サウ云フ場合ニ、現在市カラ一應借りテ居ツタガ、之ヲ市ガ前所有主ニ賣渡ス場合ニ、日立チニシナイト品物ノ値ガ違ツテ來マス、隨テ否デモ應デモ之ヲ立タヌコトガ市ニ取ツテ必要デアラウト考ヘル、サウ云フ場合ニ、立タサレタノデハ此ノ人達ハ困ルノデカラ、之ヲ擁護スル規定ハナイノデスカ、其ノ點ヲ一ツ御尋ネシタイ

○古島政府委員 勿論買收致シマシタ土地、若シハ市其ノ他ノ公共團體ノ借リテ居ル土地ガ不用ニナリマス、之ヲ賣渡シタ所モアリマス、若シハ借リテ居ツタ土地ハ返シタ所モアリマス、ソコデ返シタ土地、若シハ賣渡シタ土地ニ對シテ、何人カガソレヲ占有シテ居ルト云フ場合ニ於テハ、是ハ

本件デハ前ノ權利、消失當時ニ於ケル借地權ト云フモノハナイノデアリマス、詰リ拋棄ヲサセテ居リマスカラ、其ノ貸付ケタコトニ於テ使用ナリ或ハ借地權ナリガ起ツテ來ルノデアリマス、其ノ前ノ關係ハナイト云フコトニナリマス、其ノ公共團體個人トノ間ニ於ケル使用貸借、若シハ貸賃借ニ於ケル法律問題、唯個人ニ戻シテシマツテ、何等ノ權利ナク使用ヲ致シタト云フコトニナレバ、是ハ勿論不法占據ニナリマス、何等ノ權利ヲ有シナイノダト云フコトニナリマス、法律ノ保護ノ對象ニハナラヌノデアリマス

○金井委員 分リマシタ、ソレデハ内務大臣ニ御伺ヒ致シマスガ、露店商ノ許可權ヲ市アタリニオヤラセニナルヤウニシテ根據、ソレカラソレニ依ル弊害ニ付テハ、マダ御認メニナツテ居リマセヌカ

○大村國務大臣 私餘リ事情ヲ明カニシテ居ナイノデアリマスガ、疎開地ハ是ハ市ガ疎開ヲサセテ居ルノデアリマスカラ、恐ラクハ市ノ所有、若シハ市ノ使用權ガ出來テ居ルドラウト思ヒマス、其ノ市ノ所有權又ハ使用權ニ依ツテ、露店ヲ作ル場所ノ使用許可ヲ區役所カラ得テ居ルモノ、斯様ニ私ハ思フノデアリマス

モノガ、其ノ自己ノ權利ノ防衛ノ爲ニ、或ハ生活權擁護ノ爲ニ、私ハ必然的ニ組織サレルト思ヒマス、所ガ今日私共神奈川縣デ色々經驗ヲ致シテ居ルコトハ、正當ナル權利ヲ主張スルトカ、或ハソレガ爲ニ凡ユル手段ヲ講ジテ集會ヲスル場合ニ、警察ハ之ニ對シテ集會ヲ認メナイ、却ツテ妨害スルガ如キ行動ガアツタノデアリマス、私ハ之ニ對シテ、大臣ハ所謂集會ノ自由ヲ認メル、結社ノ自由ヲ認メルト云フコトヲ常ニ言ハレテ居リマスカラ、サウ云フコトハアリ得ナイト考ヘタノデアリマスガ、其ノ一例ヲ申上ゲテ、私ハ取締ニ付テ大臣ノ方針ヲモウ一度御伺ヒシタイト思ヒマス、ソレハ神奈川縣ニ於ケル東秦野、北秦野一帶ニ於ケル所ノ約二千戸ノ農民ノ問題デアリマス、此ノ二千戸ノ農民ガ、戰災ノ當時ニ於キマシタ倉庫ガ焼カレタリ、或ハ供出シタ所ノ麥ガ如何ハシイ方面ニ參ラレト同時ニ、直チニ一應農業會ニ出シタノデアリマスガ、所ガ農業會ハサウ云フ理由カラシテ自家保管ヲ命ジタノデアリマス、デアリマスカラ、二千戸ノ農民ハ自家ニ其ノ麥ヲ持ツテ歸ツタ所ガ、大臣ハ神奈川縣ヲ御承知デアリマスガ、秦野ト云フ所ハ諸ト麥以外ハ穫レル所デアリマセヌ、ソレデアテ、諸ト麥供出シテ參リマセバ、還元麥ヲ貰ハナケレバ生活ノ出來ナイ所デアリマス、所ガ一年經ツテモ其ノ麥ノ供出ノ催促ヲシナイ、隨テ鼻先ニハ常ニ來ル所ノ還元麥ト同ジヤウナモノガ保管サレテ居ル、還元麥ヲ請求スルヨリモ鼻先ノ麥ヲ食ツタ方ガ宜イ、ソコデ還元麥ヲ請求セズシテ、自家保管ノ麥ヲ食ベタ、サウシテ約二千戸ノ人

間デアリマスカラ、人口ニシテ、假ニ五トスレバ一萬人デアリマス、此ノ人々ガ食ベタノデスカラ相當量食ベテ居リマス、即チ其ノ數量ハ五千何百俵ニ及ンデ居ルノデアリマス、所デ一體自家保管ヲ命ジテ一年モ經ツタナラ、當然金ヲ拂ツテ吳レテ居ル管デスカ、拂ツテ吳レテ居ラス、是ハ私ハ本當ノ供出ニハナラヌト思フ、唯供出麥ヲスル場合ニハ検査證ガアリマス、其ノ検査證ヲ貼ツテ自分ノ所ニ置クコトニナツテ居リマスガ、其ノ検査モシマセヌカラ、検査證ヲ何處ダカラオ前ノ所ハ何枚ト云フノ置イテ行ツタダケデアリマシテ、検査ヲシテ居ラス、其ノ検査證ハ机ノ抽斗ノ中ニアルノダガ、一年モ經ツト百姓ノコトダカラ殆ドナクナツテ居ル、ソレガ問題ニナツタノデ、警察署デ喚ビ、檢事局デ喚ビ、假ニ五人ニスレバ一萬人、三人ニシテ六千人ノ大多數ノ人間ガ、兎ニ角食ツタ、ダカラ今度ノ生靈塗炭ハ綜合供出ニナルカラ、馬鈴薯デ之ヲ出スカラ、何トカ穩便ニシテ吳レト云フ話ヲ警察部長ニモ再ニシタ、サウシテ其ノ供出ヲサスヤウナ會合ヲ開キタイカラ、何トカ君ノ方デモ一ツ踏張ツテ吳レヌカト言ツテ頼ミニ參リマシテモ秦野ノ警察署デハ其ノ集合スルヤラセナカラ、一方デハ農業會ハ掛カリン／＼引張ツタ、現在デハ七十人ニ近イ人間ガ或ハ即決ヲ食ヒ、或ハ何萬圓ト云フ苛酷ノ罰金ヲ食ツテ居リマス、私ハ何故其ノ時ニ我々ノ言フヤウナ集會ヲサシテ、サウシテ逸早く供出セシメヤウナ方法ヲセヌカ、同時ニ苛酷ナル行動ヲ執ツテ罰金ヲ食ハスコトノミニ依ツテ供出ガ満足ニ行ツカ、我々ハ直チニ部落會ヲ開キマシテ、麥一粒デモ量リ殘ラナイ

ヤウニ供出セシメマシタ、ソレハ新麥ヲ混ヘテヤツタノデアリマス、サウ云フヤウニヤツテ居ルニ拘ラズ、集會ノ自由ヲ認メナイ、是ハ私が直接交渉シタコトモアリマスカラ間違ヒナイ、斯ウ云フヤウナコトが依然トシテ今日行ハレテ居ルコトハ、私ハ甚だ不愉快ニ感ジテ居ルト同時ニ、而モ司法當局ニ御願ヒシタイノハ、百姓が鬼ニ角邊元米モ貰ツテ居ラヌ、金モ一部ハ貰ツテ居ル人モアリマセウガ、全部ハ貰ツテ居ラヌ、而モ立派ニ證書ガ殘ツテ居ル、ソレヲ破棄シタ、破ツテ食ベタヤウナコトヲ警察ハハツキリ書カシテ居リマス、明カニ殘ツテ居ルモノガ澤山アルカラ、證據トシテ御見セシテモ宜シイ、斯ウ云フヤウナコトガ現在尙ホ行ハレテ居ルコトハ、警察ノ民主化デアリ得ナイ、司法官ノ民主化デアリ得ナイ、此ノ二ツノコトニ對シテ報告ガアリマシタカドウカ、一應御伺ヒ致シマス、報告ガナイトシタラ、直チニ取寄セテ、適當ナ政治的ナ解決ヲナシテ戴キタイ

○大村國務大臣 只今御尋ネナリマシタ點ハ、私マダ報告ヲ聽イテ居リマセヌ、至急ニ一ツ取調ベマシテ、次ノ機會ニ御答ヘ申上ゲマス

○古島政府委員 甚ダ驚クベキコトヲ承ツタノデアリマス、其實實ニ付キマシテハ、マダ司法部ノ方ニハ報告カ來テ居リマセヌガ、能ク調査ヲ致シマシテ、後ノ機會ニ御答辯申上ゲマス

○金井委員 次ニ御尋ネ致シタイノハ鑑定委員ト申スカ、最後ニ之ヲ色々ト決定ナサル立場ノ人、此ノ銓衡ニ對シテハ、此ノ間モ同僚議員カラ御尋ネガアツタノデアリマスガ、唯裁判所ニ之ヲ任カスト云フコトハ、ドウシテモ昔

ノ儘デアルト私ハ考ヘマス、此ノ間次官ハ民主的ニナサルト仰シヤツテ居リマシタガ、然ラバ民主的ナ鑑定委員ヲ作ルト云フコトハ、如何ナル具體的ナル方法ヲ以テナサレカ、其ノ具體的ナ方法ヲ一ツ御示シテ願ヒタイ

○古島政府委員 鑑定委員ノ構成ニ付テハ、實際ノ案件トシテ大分問題ノアラ、司法當局ト致セバ、其ノ選任ゴソ餘程慎重ニヤラネバナラヌト思ツテ居リマス、如何ニシテ大衆ノ心ヲ汲シヤレバ、今日ニ於テ具體的ニ申セバ、各辯護士會ノ意見等ヲ參考ニ供シ、若シクハ其ノ方ノ推薦等モ待ツテヤルト云フコトモ、一ツノ方法ダラウト思ヒマス、若シクハ其ノ他ニ信賴スルニ足ルヤウヲ團體デモアリマシレバ、其ノ方面ノ意見等モ參酌致シマシテ、之ヲ推薦シ、指名スルト云フコトモ一方法ダラウト思ヒマスガ、何レニ致シマシテモ、地方裁判所長ガ此ノ鑑定委員ノ選任スル方法ガ宜カラウト思ヒマス、此ノ方法デヤラセルヤウニコチラモ亦考慮致シ積リデアリマス

○金井委員 嘗テ調停委員ヲ作ル場合デモ其ノ方法ダツタノデス、所ガ結果ニ於テハ圖ラザルガ人ガ選バレテ圖ラザル結果ニナツテ居ル、次官ノ御方針ナリ御考ヘハ以テ宜シトスルノデアリマスガ、事實ハサウハ相參ツテ居リマセヌ、即チ嘗テハ市役所デアルトカ、縣デアルトカ、或ハ商工團體デアルト

カ、色々々方面ニ御問合セニナツテ、ソレ等ノ推薦者ノ中カラ裁判所ニ於テ選シテ居ツタコトハ能ク存ジテ居リマス、私自身モ市ノ方カラ推薦サレタ經驗ヲ持ツテ居リマス、サウ云フ工合ニ致シマシテ、其ノ結果、決シテ宜クナカツタコトハ、過去ニ於テオホヒ苦シ經驗ヲ嘗メテ居ルト思フテ居リマス、隨テサウ云フヤウナ氣持デアルノダト云ツテモ、一遍サウ云フ惡シ經驗ヲ經テ居ルノデアリマスカラ、モツト具體的ナ、民主的の論議方法ヲ願ハヌト、今ノ御答辯デハ承服シ兼ねルト思ヒマス、サウ云フ抽象的ナ論デナクシテ具體的のニ斯カル團體、斯カル構成ノ、斯ウ云フモノノ中カラ選バシタ方ガ宜イデヤナイカト云フコトハ、モウ少シ具體的のニ御考ヘ願ツテ、今度ノ委員會ノ時デ宜シウゴザイマスカラ、御示シ願ヒタイト思ヒマス

○古島政府委員 御尤モノ御言葉デアリマスガ、斯ウ云フ團體カラ採ルノラスルコトノ方ガ、却テ局限サレル限トダト思フノデアリマス、ヤハリ選任スベキ對象ハ廣イ範圍ニ求メタガ宜イト思ヒマス、唯選任スルニ當リマシテ慎重ヲ缺イタ譯デハアリリマスマイガ、間々御述ベノヤウナ例ガウタト云フコトモ聞イデ居リマスガ、鑑定委員會ニ付キマシテハ、勿論他モ大體ハサウデアリマスガ、萬一左様ナコトデモアリ、誤シテ面白カラザル者ヲ選任スルト云フヤウナコトガ、萬一ツツナイト云フコトハ保證出來マセヌ、ソコデ毎年之ヲ選任スルト云フコトニ致シマシテ、間違ヒノアツタ場合ニハ、僅カ一年ダケ之ガ改訂出來ルト云フコトデ、防イザ行キタイ積リデアリマス、

其ノ他如何様ナ點カラ、如何様ナ「グループ」カラ其ノ委員ヲ探ルカト云フ具體的ナ、固マツタコトハ餘言ハヌ方宜イト思フノデアリマス、廣イ範圍カラ探ルト云フコトニシテ置イテ、慎重ニ探ラネバナラス、嘗テノ經驗ニ徴シテ十分慎重ニシロト云フコトガ、一番宜イト存ズルノデアリマス。

○金井委員 大體ノ方向ハ分リマシタ、唯中上デテ置キタイノハ、サウシタモノヲ作り上ゲテ、其ノ結果ガ惡カッタ、惡イコトガアル場合ニ、一年デ切タルカラ良イ者ガ出來ルヤウニ改メラレ、然ラバ其ノ銓衡ヲ誤ツタ責任ハ誰ガ一體取ルカ、即チ銓衡スルト云フ一ツノ權限ヲ行フ以上ハ、銓衡ノ諱ト云フダケデハ濟マヌ、即チ自らノ行爲ヲナス場合ハ、其ノ行爲ノ裏付ケハ行義務デナケレバナラヌガ、其ノ誤ツタ場合ニ對シテノ責任ハ一體誰ガ取ルノデスカ。

○古島政府委員 誤ツタト申シマシテモ、私ノ申上ゲルノハ、或ハ其ノ委員ノ行動ガ刑辟ニ觸レルヤウナ行動ヲ取ルル、或ハ又鑑定委員トシテ公正ヲ破ルル、或ハ又見テ、許スコトノ出來ナイト云フヤウナ重大ナル缺點ナル者ヲ選ンダト云フコトナラバ、是ハ選任シタ者ハ當然責任ガアリマセウ、併シ其ノ責任ノ限度ガ、如何ナル程度ニ於テ責任ヲ負フカト云フコトハ、私ノ言明ノ限りデハアリマセヌガ、道徳上モサウ云フ刑辟ニ觸レルヤウナコト、先程酒井サンノ例ニ引キマシタヤウナ、サウ云フ諱ツタコトガ假ニアルト致セバ、是ハ一大事デアリマス、サウデナク、モウ少少シ結構ナ人ヲ出シタカツタノダガ、是ヲデハ少シ足ラヌト云フ程度ノモノナラ

バ、是ハ選任者ニ何等責メヲ負ハセル
 必要ハナカラウト思ヒマス、ソコハ實
 ハズ語ラズノ間ニ責任者ハ分ルコトト
 存ジマス
 ○金井委員 先程私ガ農村ノ問題デ御
 質問申上ゲタ點ニ對シテノ御報告ヲ俵
 チマシテ、再質問ヲ許シテ戴キマス
 ○本田委員長 本日ハ是ニテ散會致シ
 マス、明日ハ午前十時カラ開會致シ
 マス
 午後三時十一分散會

午後三時十一分散會